

May 2022

NHK Symphony Orchestra, Tokyo



**PHIL  
HAR  
MONY**

## 感染症予防対策についての取り組み

みなさまに安心して演奏をお楽しみいただけるように、以下の感染症予防対策について、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 会場内では、必ずマスクを正しく常時着用し、手洗い、手指の消毒、咳エチケットにご協力ください。
- 感染予防のため休憩中も含め、客席内ではご自身のお座席以外への着席はご遠慮ください。
- 入退場時および会場内では、まわりの方々との距離を確保した上で行動くださいますよう、ご協力をお願いいたします。また、混雑緩和のために入退場時に、制限をさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 当日、チケット半券のもぎりは、係員の確認後、お客様ご自身でお願いいたします。ただし状況により係りがもぎる場合があります。
- プログラムは所定の場所からお客様ご自身でお持ちください。
- 政府や自治体によるイベント開催要件に変更があった場合は、チケット販売の一時停止や入場者数上限の設定等を行います。
- ロビー等では大きな声での歓談はお控えください。
- 「ブラボー」等の掛け声はお控えください。
- サイン会は実施しません。また、楽屋口での出演者の待ち・出待ちはお断りいたします。また出演者への面会やプレゼントもお断りいたします。
- 万が一、ご来場のみなさまの中から新型コロナウイルス感染者が発生した場合には、保健所など公的機関へチケット購入時にいただいたお客様の情報を提供する場合がございます。またその場合、複数枚をご購入いただいた方には、同伴者など、当日ご来場いただいた方の連絡先をお伺いいたします。あらかじめご承知おきください。
- 喫茶コーナーは会場により、営業縮小もしくは休止している場合があります。
- 会場内でのお食事はお控えください。また持ち込みもご遠慮ください。
- クロークは休止しております。
- ブランケット等の貸し出しサービスは休止いたします。必要に応じて、防寒の備えをお勧めいたします。
- 会場内のドアノブや座席の手すりなどはあらかじめ消毒を実施します。
- 会場内の常時換気、開場中および休憩中の客席扉の開放など空気の入替えに努めます。
- スタッフもマスクの着用等、ご来場のみなさま同様に感染予防の対策を行います。また、業務の内容により、フェイスシールドやビニール手袋の着用をさせていただきます。
- 厚生労働省による新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)や自治体独自の通知アプリなどの活用を推奨いたします。

### お客様へのお願い



公演中は携帯電話、時計のアラーム等は必ずお切りください



演奏は最後の余韻までお楽しみください



場内での録画、録音、写真撮影は固くお断りいたします



私語、パンフレットをめくる音など、物音が出ないように配慮ください



演奏中の入退場はご遠慮ください



補聴器が正しく装着されているかご確認ください

# PHILHARMONY

CONTENTS  
MAY 2022

# 5

- 3 [公演プログラム] 池袋Aプログラム  
7 [公演プログラム] Bプログラム  
12 [公演プログラム] 池袋Cプログラム  
17 [シリーズ] N響百年史 | 第28回 | 日本交響楽協会の“大洪水” 片山杜秀
- 16 曲目解説執筆者  
22 2022年6月定期公演の聴きどころ  
——公演企画担当者から  
24 2021–22定期公演プログラム  
25 2022–23定期公演プログラム  
32 チケットのご案内(定期公演 2022年9月~2023年6月)  
33 特別公演／各地の公演  
38 特別支援・特別協力・賛助会員  
42 NHK交響楽団メンバー  
43 みなさまの声を聞かせください！  
44 NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO  
Members
- [Artist Profiles & Program Notes]  
45 Ikebukuro Program A  
48 Program B  
51 Ikebukuro Program C  
54 The Subscription Concerts Program 2021–22  
55 The Subscription Concerts Program 2022–23  
58 役員等・団友

## インターネットアンケートに ご協力ください

N響では、今後のよりよい公演の実現に向けて、インターネットでアンケートを行っています。ご鑑賞いただいた公演のご感想や、N響の活動に対するみなさまのご意見を、ぜひお寄せください。ご協力をお願いいたします。

詳しくは43ページをご覧ください



こちらのQRコードから  
アンケートページへアクセスできます



<https://www.nhkso.or.jp/enquete.html>

## 感染症予防対策についての取り組み

みなさまに安心して演奏をお楽しみいただけるように、以下の感染症予防対策について、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 会場内では、必ずマスクを正しく常時着用し、手洗い、手指の消毒、咳エチケットにご協力ください。
- 感染予防のため休憩中も含め、客席内ではご自身のお座席以外への着席はご遠慮ください。
- 入退場時および会場内では、まわりの方々との距離を確保した上で行動くださいますよう、ご協力をお願いいたします。また、混雑緩和のために入退場時に、制限をさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 当日、チケット半券のもぎりは、係員の確認後、お客様ご自身でお願いいたします。ただし状況により係がもぎる場合があります。
- プログラムは所定の場所からお客様ご自身でお持ちください。
- 政府や自治体によるイベント開催要件に変更があった場合は、チケット販売の一時停止や入場者数上限の設定等を行います。
- ロビー等では大きな声での歓談はお控えください。
- 「ブラボー」等の掛け声はお控えください。
- サイン会は実施しません。また、楽屋口での出演者の入待ち・出待ちはお断りいたします。また出演者への面会やプレゼントもお断りいたします。
- 万が一、ご来場のみなさまの中から新型コロナウイルス感染者が発生した場合には、保健所など公的機関へチケット購入時にいただいたお客様の情報を提供する場合がございます。またその場合、複数枚をご購入いただいた方には、同伴者など、当日ご来場いただいた方の連絡先をお伺いいたします。あらかじめご承知おきください。
- 喫茶コーナーは会場により、営業縮小もしくは休止している場合があります。
- 会場内でのお食事はお控えください。また持ち込みもご遠慮ください。
- クロークは休止しております。
- ブランケット等の貸し出しサービスは休止いたします。必要に応じて、防寒の備えをお勧めいたします。
- 会場内のドアノブや座席の手すりなどはあらかじめ消毒を実施します。
- 会場内の常時換気、開場中および休憩中の客席扉の開放など空気の入替えに努めます。
- スタッフもマスクの着用等、ご来場のみなさま同様に感染予防の対策を行います。また、業務の内容により、フェイスシールドやビニール手袋の着用をさせていただきます。
- 厚生労働省による新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCONA)や自治体独自の通知アプリなどの活用を推奨いたします。

### お客様へのお願い



公演中は携帯電話、時計のアラーム等は必ずお切りください



演奏は最後の余韻までお楽しみください



場内での録画、録音、写真撮影は固くお断りいたします



私語、パンフレットをめくる音など、物音が出ないように配慮ください



演奏中の入退場はご遠慮ください



補聴器が正しく装着されているかご確認ください

# Special Thanks



## NHK SYMPHONY ORCHESTRA T O K Y O

特別支援


With Special Support of

岩谷産業株式会社

Iwatani Corporation

 三菱地所株式会社

Mitsubishi Estate Co., Ltd.

 みずほ銀行

Mizuho Bank, Ltd.

公益財団法人 渋谷育英会

Shibuya Scholarship Foundation

NHK交響楽団は上記の各社から特別支援をいただいております。

2020年2月、ウィーン・コンツェルトハウスにて  
©Lukas Beck

PROGRAM

池袋

A

第1956回

東京芸術劇場

5/14 [土] 6:00pm

5/15 [日] 2:00pm

指揮	マレク・ヤノフスキ
ヴァイオリン	アリョーナ・バーエワ
コンサートマスター	白井 圭

## シューマン

## ヴァイオリン協奏曲 二短調 [31']

- I 力強く、速すぎないテンポで
- II ゆっくりと
- III 生き生きと、しかし速くなく

— 休憩 (20分) —

## シューベルト

## 交響曲 第8番 ハ長調 D. 944

## 「ザ・グレート」[55']

- I アンダンテ—アレグロ・マ・ノン・トロツポ
- II アンダンテ・コン・モート
- III スケルツォ:アレグロ・ヴィヴァーチェ—トリオ
- IV アレグロ・ヴィヴァーチェ

後援: 豊島区

## インターネットアンケートにご協力ください

N響では、今後のよりよい公演の実現に向けて、インターネットでアンケートを行っています。みなさまの貴重なご意見を参考にさせていただきます。ぜひお声をお寄せください。ご協力お願いいたします。

詳しくは43ページをご覧ください



こちらのQRコードから  
アンケートページへアクセスできます



<https://www.nhkso.or.jp/enquete.html>

## Artist Profiles

## マレク・ヤノフスキ(指揮)



© Falk Brende

1939年、ポーランド生まれのドイツの指揮者。ケルンで学んだのち、ドイツ地方都市の劇場でキャリアをスタートさせ、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、ケルン・ギュルツェニヒ管弦楽団、スイス・ロマン管弦楽団、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン放送交響楽団などの要職を歴任。現在はドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団の音楽監督の任にある。オーケストラから引き締まった響きを引き出し、ドイツ物を中心に名演の山を築いてきた。N響とは2014年からスタートした東京・春・音楽祭での、精緻に構築されたリング・ツイクルスが印象的だった。ヤノフスキの《指環》とえば、1980年から1983年にかけてのドレスデン・シュターツカペレとの録音が有名だが、これは国際的に名前が知られはじめた時期の仕事だ。N響との初共演はそのすぐあと、1985年9月で、それから1998年まで数年おきに登壇している。サヴァリッシュのもとで研鑽したヤノフスキの才能を、極東にありながらいち早く発見したのがN響だったというわけだ。

ヤノフスキは1990年代よりオペラを離れオーケストラのレパートリーに専心し、“世界的マエストロ”へと評価を高めた。2010年から2013年のベルリン放送交響楽団とのワーグナー主要作品上演、2016年と2017年のバイロイト・リングと並び、“春祭リング”はヤノフスキのオペラ復帰後の偉業だったわけだ。これが呼び水となり、N響への定期的な客演が実現しているのは喜ばしい限りだ。

[江藤光紀／音楽評論家]

## アリョーナ・バーエフ(ヴァイオリン)



© Vladimir Shirokov

キルギス(ソビエト連邦)のオシュ生まれ。5歳でカザフスタンのアルマトイに移転し、ヴァイオリンを始める。10歳でエドゥアルド・グラチに師事するためにモスクワに移り、モスクワ音楽院附属中央音楽学校およびモスクワ音楽院で学ぶ。その後、フランスでムスティスラフ・ロストロポーヴィチに、小澤征爾スイス国際アカデミーで小澤征爾に、イスラエルでシュロモ・ミンツに薫陶を受ける。2001年、16歳でヴェニエチア国際ヴァイオリン・コンクールに優勝。2007年、仙台国際音楽コンクールで第1位を獲得している。レパートリーが広く、チャイコフスキーの《ヴァイオリン協奏曲》などのスタンダードな名曲のほか、シマノフスキの《第1番》と《第2番》、ショスタコーヴィチの《第1番》、カルウオヴィチ、シューマンらの協奏曲の録音も残す。ピリオド楽器にも関心を寄せ、18世紀オーケストラとも共演。NHK交響楽団とは、2019年2月、パーヴォ・ヤルヴィの指揮で、リハルト・シュトラウスの《ヴァイオリン協奏曲》を共演。今回も意外と取り上げられる機会の少ないシューマンの《ヴァイオリン協奏曲》の演奏が楽しみである。

[山田治生／音楽評論家]

## Program Notes | 堀 朋平

42歳のロベルト・シューマン(1810~1856)は、心が散り散りになる病に苛まれていた。《ヴァイオリン協奏曲》はそんな晩期の問題作である。その13年前、亡きフランツ・シューベルト(1797~1828)の《ザ・グレート》に寄せた文章には、みずみずしい憧れが綴られている。それはあまりに完璧な音楽だったのだ。

2人の“Schu”を隔てる何光年もの距離、それゆえに燃え上がる憧れと尊敬……本日のプログラムはそんなことを教えてくれるだろう。

## シューマン

## ヴァイオリン協奏曲 二短調

《ピアノ協奏曲》(1841/45)や《チェロ協奏曲》(1850)で、はやくも冒頭から、独奏楽器とオーケストラの溶け合いをシューマンは披露してきた。楽器どうしの対話がどんどん親密になっていくのが協奏曲の歴史である。これに対して本作は、堂々たるオーケストラ総奏の後にソロが入ってくる異例の(シューマン唯一の)構成。モーツァルト時代、さらにはバッハ時代に立ち戻ることで、むしろ決然とした性格とソロの技巧性がきわだつ作りになっているのだ。4年間務めてきたデュッセルドルフの音楽監督として新風を求めたのかもしれないし、同年に知り合ったヴァイオリンの名手ヨーゼフ・ヨアヒム(1831~1907)に靈感を受けて書かれた結果かもしれない。

ところがヨアヒムは、シューマンの妻クララと相談して初演を見送ったばかりか、作品の公表すら控えた。非常に速筆であることも関係していただろう、ソロに対して単調なオーケストレーション、反復運動を強いる終楽章など、「ある種の疲労感、精神的エネルギーの欠如」(1898年、ヨアヒムの回想より)が感じられる箇所がままあったようだ。当時の作曲家はすでに幻聴などの症状に悩まされていたこともあって、華やかさの陰に病のしるしが、世紀を超えて読み取られてきた。初演は、ナチス政権の下ようやく行われる。

第1楽章を推進するのは上昇的なエネルギー。第2楽章冒頭でソロが弾くテーマは、幻聴であらわれたメロディだという。シューマン自身がのちに「天使の歌」ないし「シューベルトの霊による」と述べたテーマと同型である。第3楽章では、ポロネーズのリズムで冒頭楽章のモチーフを変容させるクライマックスが光る。

作曲年代	1853年9月21日~10月3日
初演	1937年11月26日、カール・ベーム指揮、ゲオルク・クーレンカンプ独奏、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
楽器編成	フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ1、弦楽、ヴァイオリン・ソロ



シューベルト

## 交響曲 第8番 ハ長調 D. 944「ザ・グレート」

前年はほとんど厄年だった。くりかえす梅毒の痛みで身体は疲弊し、<sup>こんしん</sup>渾身のオペラ《フィエラプラス》(D. 796)はスキャンダルでお蔵入り。親友たちの不在で、創作の源だった読書会も空中分解。ローマの親友L. クーペルヴィーザーに心を打ち明けた一通(1824年3月31日)には、「愛と友情の幸福」も「美への熱狂」も消え去ろうとしているんだ、と書かれている。その<sup>むご</sup>惨さは想像するに余りあるが、手紙はこう続く。いくつかの室内楽を足がかりに「僕は交響曲への道を開こうとしているのです」。これこそ、英語でいう「ザ・グレート・シンフォニー」に他ならない。《未完成交響曲》(1822)のような内面への沈潜をやめ、顔を上げて堂々たる晴朗な交響曲をおおぜいの人に届けたい……人生最大の決意がひそかに宣言されたのである。

この大望は、大自然の懷でゆっくり形をなしていった。1825年の初夏、4か月におよぶザルツブルク方面への演奏旅行で、作曲家は友に囲まれて大いに<sup>きょうきん</sup>胸襟を開く。<sup>かばん</sup>鞆には、書き始めた交響曲草稿の束をたずさえて。初めて触れるザルツカンマーグート地方の雄渾な——自ら「神々しい」と呼ぶ——湖水と山岳に心揺さぶられ、旅先で紙を買い足しつつ筆は進められた。スコアは翌年の下旬には完成し、ウィーン楽友協会に献呈された。協会もすぐに礼状と謝礼金を送り、パート譜を作成するも、反復と冗長さが敬遠されてお蔵入りとなる。いや、「冗長さこそ天国のようなのだ」——この美点を見抜いて友人メンデルスゾーンに初演を託したのが、シューマンである。

**第1楽章** ホルンが先導する室内楽のような序奏から、音楽は膨らむ。主部に入って約3分後、おごそかな弱音で第3主題を鳴らすのがトロンボーンだ。交響曲に登場してまだ日が浅いこの楽器は、数分後には最強音で響きわたってクライマックスを築く。

**第2楽章** 開始5分ほど、最初の主題が戻ってくる刹那にシューマンは魅了された。「ホルンが彼方から呼びかけてくる箇所は、まるで異次元から降りてきたかのようだ。皆もここで耳を澄ます、あたかも天の賓客がオーケストラをそっと通り抜けていくかのようだ」。

**第3楽章** ホルンが主導する(なんと24個の)同音連打で始まる長大な中間部は、山岳への讃歌だろうか、交響曲全体の白眉である。

**第4楽章** 音の反復はいまや最高度に洗練され、凱歌に酔いしれる。金管でさりと引用されるベートーヴェンの〈歓喜の歌〉も聴きのがせない。

作曲年代	1825年初夏～1826年
初演	1839年3月29日、フェリックス・メンデルスゾーン・バルトルディ指揮、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団
楽器編成	フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ1、弦楽

PROGRAM

B

第1958回

サントリーホール

5/25 水 7:00pm

5/26 木 7:00pm

指揮 ファビオ・ルイージ

ピアノ 小菅 優

コンサートマスター 篠崎史紀

### メンデルスゾーン

序曲「静かな海と楽しい航海」作品27  
[12']

### ラヴェル

ピアノ協奏曲ト長調 [22']

I アレグラメンテ

II アダージョ・アッサイ

III プレスト

— 休憩 (20分) —

### リムスキー・コルサコフ

交響組曲「シェエラザード」作品35  
[46']

I 海とシンドバッドの船

II カレンダー王子の物語

III 若い王子と王女

IV バグダッドの祭り—海—船は青銅の騎士のあ  
る岩で難破—終曲

### インターネットアンケートにご協力ください

N響では、今後のよりよい公演の実現に向けて、インターネットでアンケートを行っています。みなさまの貴重なご意見を参考にさせていただきます。ぜひお声をお寄せください。ご協力お願いいたします。

詳しくは43ページをご覧ください



こちらのQRコードから  
アンケートページへアクセスできます



<https://www.nhkso.or.jp/enquete.html>

## ファビオ・ルイーゼ (指揮)



© Monika Rittershaus

ファビオ・ルイーゼ、2022年9月から3年契約でNHK交響楽団の首席指揮者に就任する——。この喜ばしいニュースは昨年4月に発表された。伝統と格式を誇るオペラハウス、フェスティバル、オーケストラで創造の喜びを分かち合うルイーゼとN響の新時代が始まろうとしている。

1959年1月イタリア、ジェノヴァ生まれ。オーストリア第2の都市グラーツの歌劇場でコレペティウア（オペラの稽古ピアニスト）、指揮者として活動を開始。ほどなくベルリン・ドイツ・オペラ、バイエルン国立歌劇場、ウィーン国立歌劇場から招かれた。これまでにスイス・ロマン管弦楽団、ウィーン交響楽団、ドレスデン国立歌劇場、札幌の国際教育音楽祭PMF、メトロポリタン歌劇場、チューリヒ歌劇場の要職を歴任。ザルツブルク音楽祭で指揮したりヒャルト・シュトラウスの《ダナエの愛》、メトロポリタン歌劇場での《ジークフリート》《神々のたそがれ》、セイジ・オザワ松本フェスティバルでの《ファルスタッフ》《エフゲーニ・オネーギン》も賞賛を博す。ブルックナー、マーラーの交響曲、フランツ・シュミットのオラトリオなど録音も枚挙にいとまがない。現在デンマーク国立交響楽団首席指揮者とダラス交響楽団音楽監督を兼務。

N響との初共演は2001年。2004年以降は定期公演の常連で、昨年11月はブルックナーの《交響曲第4番「ロマンチック」》とチャイコフスキーの《交響曲第5番》に腕をふるった。

[奥田佳道 / 音楽評論家]

## 小菅 優 (ピアノ)



© Masao Higashimura

東京生まれ。9歳で演奏活動を始め、10歳からヨーロッパに暮らし、ドイツのハノーファーやザルツブルクで学んだ。2005年カーネギー・ホールでリサイタル・デビュー。2006年にはザルツブルク音楽祭で日本人ピアニストとして2人目となるリサイタル・デビューを果たし、その後2010年、イーヴォ・ポゴレリチの代役として同音楽祭に再出演した。国内外のオーケストラから多く招かれ、これまでに小澤征爾、ロジャー・ノリントン、ジョナサン・ノットなどの指揮で、ベルリン交響楽団、hr交響楽団、シュトゥットガルト放送交響楽団、スイス・ロマン管弦楽団ほかと共演。N響ともたびたび共演し、タン・ドゥンの《ピアノ協奏曲「ファイア」》日本初演（2008年）ではソリストを務めた。第64回芸術選奨音楽部門文部科学大臣新人賞、第48回サントリー音楽賞ほか数々の賞を受賞。2011年から4年をかけて録音したベートーヴェンのピアノ・ソナタ全集、趣向を凝らしたプログラムによるリサイタルなど、意欲的な活動が高く評価されている。

[高坂はる香 / 音楽ライター]

海は作曲家にとって着想の宝庫である。水や波の動き、雄大さ、日の出から日没までの変化を映し出す水面、そして異国へとつながるロマン。本日取り上げられる作曲家たちは皆、海や水に含まれる詩的・音楽的要素を掬い上げることに成功した。船旅が通常であった遠い異国への旅は、飛行機の登場で一変する。ラヴェルの《ピアノ協奏曲 ト長調》は、そうした新時代の米仏文化交流の幕開けを象徴する作品である。

## メンデルスゾーン

### 序曲「静かな海と楽しい航海」作品27

フェリックス・メンデルスゾーン・バルトルディ(1809~1847)が19歳という若き日に作曲したこの演奏会用序曲は、ドイツの文豪ゲーテの短い2篇の詩「静かな海」と「楽しい航海」(いずれも『叙情詩集Lieder』に含まれる)を題材にした管弦楽曲である。すでにベートーヴェンが同名のタイトルで同じ2篇の詩を一曲のカンタータとして仕上げている。ニ長調という調性も共通している。ドイツの2人の巨匠の胸を借りたメンデルスゾーンは、詩的内容を言葉に縛られず純器楽作品へと転化させる彼の最大の強みとなる技術を、この序曲において身につけている。メンデルスゾーンは師のツェルターを通じて1821年にゲーテに出会っており、以後深く影響を受けることになる。

「静かな海」は穏やかな海とも少し異なり、風のない怖ろしさを含む、死んだように静かな海である。霧が晴れると風が吹き、ようやく船が走り出す。「楽しい航海」とは順風満帆な航海の様子と水夫の生き生きとした心情を表している。最後に陸が眼前に近づく時の喜びは、航海を体験した者だけが真に共有できる感情であろう。ゲーテは体験によって内から湧き起こる心の動きを重視し、詩のリズムに書き留めた。メンデルスゾーンは、豊かな低音と倍音の残響効果を生かしたオルガンのポリフォニーによって雄大な海の静けさを表現し、フルートの躍動するリズムとホルンの参入によって順調な航海の始まりを知らせる。風や水の動きの描写と人間の感情が一体化し、トランペットのファンファーレが鳴ると目的地の到来が全合奏で祝される。最後に海の静けさが一瞬回帰する。

作曲年代	1828年
初演	1828年9月7日、ベルリンにて私的に初演(メンデルスゾーンの両親宅)、1832年12月1日、ベルリン、ジングアカデミーにて公的初演
楽器編成	フルート2、ピッコロ1、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、コントラファゴット1、ホルン2、トランペット3、チューバ1、ティンパニ1、弦楽

## ピアノ協奏曲 ト長調

自然のリズム表現は、近代のフランス音楽まで脈々と受け継がれている。ドビュッシー《海》(1905)と同時期に、モーリス・ラヴェル(1875~1937)は《海原の小舟》で大西洋に浮かぶ小舟を表現していた。しかし第1次世界大戦を経て、陸と海の関係は一変する。戦後に意気消沈していたラヴェルに、1927年5月のリンドバーグによるニューヨーク・パリ間無着陸横断成功のニュースは、どんな夢を与えたであろうか。同じ年の12月、フランスから北米演奏旅行に(もちろん船で)発ったラヴェルは、1928年1月ニューヨークに到着する。この地で交流を深めたのが、すでに《ラプソディー・イン・ブルー》で名声を得ていたガーシュウィンである。

帰国後ラヴェルはピアノ協奏曲の作曲にとりかかる。ジャズの要素は同時進行で作曲していた《左手のための協奏曲》の方にと多く含まれていると作曲家は語るが、《ピアノ協奏曲 ト長調》の第1楽章においてもガーシュウインの影響は顕著である。新時代の活気に励まされたラヴェルは、あたかもこれまでの人生を懐古するかのように、古典的形式や自身のルーツであるスペインの主題、過去の自作や尊敬する作曲家たちへのオマージュを織り込んだ。1932年のインタビューの中で、ラヴェルはこの協奏曲について「私が求めていた内容と形式の実現に近づいた作品のひとつであり、私の意志をコントロールすることに最も成功した作品のひとつだと思う」と語った。

**第1楽章** アレグラメンテ、ト長調、2/2拍子。冒頭のピッコロによる第1主題はバス地方の笛の響きであるとも指摘される。多彩な打楽器と幻想的な音色、ピアノのジャズ風ひとり語りのような第2主題など、時空を自由に移動しながら、全体としてはソナタ形式のような構成をもつ。

**第2楽章** アダージョ・アッサイ、ホ長調、3/4拍子。エリック・サティの世界と自身の《亡き王女のためのパヴァーヌ》を融合させたような甘美な緩徐楽章。

**第3楽章** プレスト、ト長調、2/4拍子。技巧を尽くした純粹なる音のぶつかり合いの快楽を追求するブラブーラ(華麗な)協奏曲の典型(ラヴェル以後、ブリテンやジョリヴェの《ピアノ協奏曲》も同様の終楽章をもつ)。冒頭と結尾が同じト長調の和音とリズムで円環を結んでおり、アンコールとしてそのまま楽章を再開することも可能である。

作曲年代	1929~1931年
初演	1932年1月14日パリ、サル・プレイエル。マルグリット・ロンによるピアノ独奏、ラヴェル指揮、ラムルー管弦楽団
楽器編成	フルート1、ピッコロ1、オーボエ1、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット1、Esクラリネット1、ファゴット2、ホルン2、トランペット1、トロンボーン1、ティンパニ1、トライアングル、小太鼓、サスペンデッド・シンバル、大太鼓、タムタム、ウッド・ブロック、ムチ、ハープ1、弦楽、ピアノ・ソロ

## 交響組曲「シェエラザード」作品35

ロシアの作曲家ニコライ・リムスキー・コルサコフ(1844~1908)の《シェエラザード》こそ、オリエントに続く海のイメージを音楽家たちに鮮烈に印象づけた作品である。実際彼は海軍兵学校出身であり、航海経験があった。リムスキー・コルサコフから多大な影響を受けているラヴェルは、《「シェエラザード」序曲》(1898)と、《歌曲集「シェエラザード」》(1903)を残している。

「シェエラザード」とは、アラビアン・ナイトの名でも知られるアラブの説話集『千一夜物語』の登場人物である。中世から今日まで変遷しつつ伝わるこの物語では、妻の不貞を体験したシャフリヤール王が妻を処刑し、以来国の若い女性を妻にしては、一夜を共にして次々と殺していく。そこで大臣の娘シェエラザードは自らシャフリヤール王のもとに嫁ぎ、毎晩さまざまな物語を語り聞かせる。物語の続きが気になる王は、シェエラザードを殺すことを先送りにし、とうとう心改める。

1887年、急死したボロディンの未完のオペラ《イーゴリ公》の管弦楽補筆に取り組んでいたリムスキー・コルサコフは、『千一夜物語』のシェエラザードが語る物語からさまざまなエピソードや情景を取り出し、散りばめて管弦楽作品を書くことを思いつく。友人の勧めで各楽章につけられた標題は、出版用のスコアから削除されたが、今日では標題付きで演奏される。作曲家自身は、東方の雰囲気とともに聴衆各自が自由な物語を楽しむことを意図していたようである。

そのため全体を通じて物語を導く音楽的テーマが、枠組みを設定する。第1楽章冒頭でユニゾンによって鳴らされるシャフリヤール王の主題と、独奏ヴァイオリンがハープの伴奏とともに奏でる、異国的なシェエラザードの旋律である。木管楽器の和音を挟んで続くこの2つの主題が、ソナタ形式の第1主題と第2主題のように、第1楽章の音楽的展開の要となる。シェエラザードの旋律は、その後各楽章の前奏や間奏、後奏で挿入され、シェエラザードが各物語へと導いていく姿を想像させる。第4楽章の冒頭では、第1楽章のシャフリヤール王の主題も再現する。「海と船」という物語の基調をなすテーマとともに、各楽章の音楽的テーマが第4楽章に回帰し、円環的統一性を与えている。3連音符の連なりからなるシェエラザードのリズムは、海の水の揺らぎにも転じることができる。

作曲年代	1888年
初演	1888年11月3日、サンクトペテルブルク。「ロシア交響楽コンサート」の一環として。作曲家自身による指揮
楽器編成	フルート2(ピッコロ1)、ピッコロ1、オーボエ2(イングリッシュ・ホルン1)、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ1、シンバル、大太鼓、サスペンデッド・シンバル、タムタム、トライアングル、小太鼓、タンブリン、ハープ1、弦楽

PROGRAM

池袋



第1957回

東京芸術劇場

5/20 **金** 7:30pm

5/21 **土** 2:00pm

指揮 ファビオ・レイージ | プロフィールはp.8

ピアノ アレクサンドル・メルニコフ

コンサートマスター 篠崎史紀

[開演前の室内楽(池袋Cプログラム限定)]

20日(金)6:45pm~/21日(土)1:15pm~

クラリネット: 伊藤 圭 ヴァイオリン: 白井 篤、田中晶子 ヴィオラ: 谷口真弓 チェロ: 西山健一

モーツァルト/クラリネット五重奏曲 イ長調 K. 581—第1楽章

※演奏はご自身の座席でお楽しみください。

※演奏中の客席への出入りは自由です。

モーツァルト

歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲 [7']

モーツァルト

ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K. 466

[31']

I アレグロ

II ロマンツェ

III アレグロ・アッサイ

ベートーヴェン

交響曲 第8番 ヘ長調 作品93 [27']

I アレグロ・ヴィヴァーチェ・エ・コン・プリオ

II アレグレット・スケルツァンド

III テンポ・ディ・メヌエット

IV アレグロ・ヴィヴァーチェ

※ この公演に休憩はございません。あらかじめご了承ください。

後援: 豊島区

インターネットアンケートにご協力ください

N響では、今後のよりよい公演の実現に向けて、インターネットでアンケートを行っています。みなさまの貴重なご意見を参考にさせていただきます。ご協力をお願いいたします。

詳しくは43ページをご覧ください



こちらのQRコードから  
アンケートページへアクセスできます



<https://www.nhksso.or.jp/enquete.html>

## アレクサンドル・メルニコフ (ピアノ)



© Julien Migon

アレクサンドル・メルニコフは、豊かな知性と表現力をもつ才気煥<sup>かんぱつ</sup>発なピアニスト。1973年にモスクワで生まれ、モスクワ音楽院ではレフ・ナウモフに師事。スヴァトスラフ・リヒテルとも親密な関係を築く。卒業後はミュンヘンでエリソ・ヴィルサラーゼに師事。カール・ウルリッヒ・シュナーベルにも学んだ。1989年のシューマン国際コンクール、1991年のエリザベート王妃国際音楽コンクールなどに入賞し、欧州を拠点に国際的に活躍。また、歴史的鍵盤楽器奏法に関してアンドレアス・シュタイアーやアレクセイ・リュビモフに学び、同分野での探究と経験は、現代ピアノでの演奏表現にも綿密な知見を導いている。ロシア近現代はもちろんドイツ・ロマン派やウィーン古典派のレパートリーを得意とする。室内楽での信望も篤<sup>あつ</sup>く、近年はジャン・ギアン・ケラスやイザベル・ファウストと精力的に活動。来日も多いが、N響とは2008年、2011年以来の顔合わせになる。ファビオ・ルイーゼとすでに欧州での共演もあるモーツァルトの二短調協奏曲《第20番》でよく吟味された演奏を聴かせることだろう。

[青澤隆明 / 音楽評論家]

### Program Notes | 野平一郎

音楽社会そのものが変革していく激動の時代。ウィーン古典派が辛うじて作品の均整を全うしようとしていたものの、構成感、形式感を重んじていた時代の束縛は作品の内部より崩れ、表現はどうしようもなくそこからこぼれ落ちてゆく。ファビオ・ルイーゼは本公演で、そうした時代の矛盾と葛藤を強調しようとする。2曲の劇的な展開に満ちたモーツァルト、一方で、古典の再構築を目指したベートーヴェンの交響曲。後者は前者の二短調ピアノ協奏曲を深く尊敬していた。本日のアレクサンドル・メルニコフのソロも必聴だ。

### モーツァルト

## 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲

ロレンツォ・ダ・ポンテの台本による《歌劇「ドン・ジョヴァンニ」》は、《フィガロの結婚》《コシ・ファン・トゥッテ》《魔笛》と共に、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756～1791)が作曲した四大オペラのひとつであり、ドラマ・ジョコーソ(すなわち悲劇と喜劇を同時に包含するようなオペラ)の傑作である。アリアや重唱に器楽の諸構造を適用し、こうした「ナンバー」とレチタティーヴォが交代し、幕切れにさまざまな場面が継起するフィナーレを置くといった古典派の歌劇の構造は、ここで完璧なかたちを見出している。



ドラマ・ジョコーソの特徴は、この素晴らしい演奏会用序曲にも反映されている。ドン・ジョヴァンニに殺された騎士長が亡霊の石像として現れ、主人公が地獄に落ちる壮絶な場面を序奏に、そして対照的に軽く明るい楽想によるソナタ形式の主部がそれに続く。その第1主題は半音階の上行ではじまり、一方、下行する第2主題はさまざまな対位法的処理を受ける。緻密な管弦楽法や作曲技術が縦横無尽に展開され、モーツァルトの充実した創作を反映している。本日は作曲者による演奏会用の終結部が用いられる。

言い伝えによれば、プラハでの初演の前々日になってもこの序曲は書かれておらず、モーツァルトは何とたった一晩で作曲、完成したという。

作曲年代	1787年10月28日
初演	1787年10月29日、プラハ、エステート劇場、作曲者自身の指揮
楽器編成	フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ1、弦楽

## モーツァルト

### ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K. 466

モーツァルトは、ウィーンに居を移して以来、自ら主催する予約演奏会を中心に自作自演を目的として「ピアノ協奏曲」を量産していった。特に《第20番》が作曲された前後の1784～1786年の3年間に12曲が集中的に作曲・初演されている。1784年に《第14番》～《第19番》、1785年に《第20番》～《第22番》、1786年に《第23番》～《第25番》という具合だが、この間のモーツァルトの音楽の発展——内面的にも技術的にも——は驚くべきものがある。特に6曲からなる弦楽四重奏曲《ハイドン・セット》の創作（1783～1785）がモーツァルトにもたらしたものは大きかったと思われる。今までほとんど作曲されてこなかった「短調の」協奏曲、しかも感情的にも精神の内面をえぐるかのような激しい表現は、モーツァルトのこの後の創作へと繋がってだけでなく、ベートーヴェンやブラームスをはじめとする次世代の音楽家たちにも、深い影響を与えた。この2人はこの協奏曲に有名なカデンツァを作曲しているが、彼ら以外にもフンメルやライネッケ、クララ・シューマンやブゾーニのそれが知られている。

第1楽章アレグロ、ソナタ形式。弦楽器によるシンコペーションと音階でうごめく低音による第1主題、そしてピアノ・ソロ導入部分が非常に重要な素材であるが、オーケストラとフルート（のちにピアノ）が対話する第2主題も美しく魅力的である。特に展開部で第1主題と交互に現れるピアノ導入の旋律の色彩が毎回変化する有様は圧巻である。第2楽章ロマンツェ、3部形式。優雅な変ロ長調の主部に対して、荒れ狂うト短調の中間部は非常に劇的でオペラの一場面のような。第3楽章アレグロ・アツサイ。モーツァルトは、この時代のピアノ協奏曲に特有な Rondò・ソナタ形式の構造を見出していた。なおカデン

ツァを境にして作品が長調に転じ、華麗に輝かしく終止する。このアイデアは、ベートーヴェンの《ピアノ協奏曲第3番》、ブラームスの《ピアノ協奏曲第1番》をはじめ、このあとに書かれた幾多の短調の名協奏曲に採用されている。

作曲年代	1785年2月10日完成
初演	1785年2月11日、ウィーン
楽器編成	フルート1、オーボエ2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ1、弦楽、ピアノ・ソロ

## ベートーヴェン

### 交響曲 第8番 へ長調 作品93

ルードヴィヒ・ファン・ベートーヴェン(1770~1827)は、しばしばまったく異なった対照的な表現の作品を2つ、同時にもしくは続けて作曲することがある。交響曲でいえば、《第5番》と《第6番》、すなわち「運命」と「田園」がそれであり、1810年代になると、今度は《第7番》とこの《第8番》がそのケースに当たる。《第7番》がリズムの展開を重視することで新境地を開こうとしたのに対して、この《第8番》は比較的小規模で、全体の構成が単純化されていること、また9曲の交響曲の中で唯一メヌエットの楽章を持っていることから、より古典の世界への回帰を目論んでいるようにも思える。

第1楽章アレグロ・ヴィヴァーチェ・エ・コン・プリオ、ソナタ形式。潑刺としたオーケストラのトゥッティによる表現。3拍子の持つ舞踏性と歌謡性が惜しみなく現れ、和声連結にも新機軸が試みられている。第2楽章アレグレット・スケルツァンド。管楽合奏による刻みの上に、弦楽器で歌われる主題。当時ウィーン宮廷の技師であったメルツェルが考案したとされる、メトロノームの影響がある。ベートーヴェンはこの機械の有用性に目をつけ、大いに利用した。第3楽章テンポ・ディ・メヌエット。スケルツォ一辺倒を廃し、この時代からベートーヴェンの舞踏の楽章は実に多様性を帯びていく。これも宮廷の優雅な舞曲というより、むしろ民衆的な世俗の性格を持っているようだ。トリオは、さらにのどかなホルンやクラリネットの旋律にチェロの対旋律が絡んでいく。第4楽章アレグロ・ヴィヴァーチェ。ソナタ形式を基礎とする独特な構成。ベートーヴェン特有の「疾走する」楽章であり、オーケストラの扱いは大変洗練されている。大胆な調や音量の変化、多くの「驚き」に満ちている。聴く者を驚かせる仕掛けはもちろんベートーヴェン独特ではあるが、遠く青年時代の師ハイドンのものでもある。勝手な推察に過ぎないが、古典的な佇まいを求めた作曲家が、遠いハイドンの記憶を呼び戻しているようにも聴こえる。

作曲年代	1812年
初演	1814年2月27日、ウィーン、レドゥーテンザール(前年1813年4月20日にニルドルフ大公邸にて非公開の初演)
楽器編成	フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ1、弦楽

---

## 曲目解説執筆者

---

### 野平一郎(のだいら いちろう)

作曲家、ピアニスト。東京藝術大学、同大学院を修了後、パリ国立高等音楽院に学ぶ。ピアニストとして、内外の主要オーケストラにソリストとして出演する一方、室内楽奏者としても活躍。古典から現代まで、そのレパートリーは幅広い。これまでに発表した作品は80曲以上に及ぶ。現在、東京音楽大学教授、静岡音楽館AOI芸術監督。2012年紫綬褒章受章、2018年日本芸術院賞受賞。

---

### 堀 朋平(ほりともへい)

国立音楽大学講師。博士(文学)。専門はシューベルト研究を中心とした19世紀音楽、音楽思想史。著書に『〈フランツ・シューベルト〉の誕生——喪失と再生のオデュッセイ』、訳書にヒンリヒセン著『フランツ・シューベルト——あるリアリストの音楽的肖像』、共訳書にボンズ著『ベートーヴェン症候群——音楽を自伝として聴く』など。住友生命いづみホール音楽アドバイザー。

---

### 安川智子(やすかわ ともこ)

北里大学准教授、東京藝術大学非常勤講師。博士(音楽学)。おもな研究領域は19世紀から20世紀初頭のフランス音楽および音楽理論史。共編著書に『ハーモニー探究の歴史——思想としての和声理論』『《悪魔のロベール》とパリ・オペラ座—19世紀グランド・オペラ研究』、共著書に『マラルメの現在』、訳書にフランソワ・ボルシル著『ベル・エポックの音楽家たち』など。

(五十音順、敬称略)

# N響管百年史

## 第二十八回 日本交響楽協会の“大洪水”

片山杜秀

Morihide Katayama

二〇二六年のN響創立百周年に向け、NHK-FM「クラシックの迷宮」のパーソナリティとしてもお馴染みの思想史研究者で音楽評論家の片山杜秀さんが、時代背景とともにN響の歴史をひもときます。自らを「コサック」になぞらえ、日本交響楽協会を我が物顔で振り回す山田耕筈に、遂に近衛秀磨派が反旗を翻します――。

### 山田・近衛体制に襲いかかる“大洪水”

山田耕筈は床に臥せて本ばかり読んでいた。1926(大正15)年6月のこと。山田は5月から病気になって、ほぼ2か月、仕事ができなくなった。やや回復してくると、他にできることもないので、しばし病床で読書三昧の日々を送ったという。山田がこの時期、熱中したのは、ポーランドの作家、ヘンリック・シェンキェヴィチ(1846~1916)の『大洪水』。1880年代に書かれた長編歴史小説で、3部作の第2作をなす。前が『火と剣とをもって』で、後が『草原の火』。3つあわせて17世紀中葉のポーランド史を虚実ないまぜで描く。全体に愛国的調子がある。国民文学と呼べるほどにポーランドで愛読され、この3部作の描く時代は、第2作のタイトルと結びつけられて大洪水時代と呼ばれるようになった。

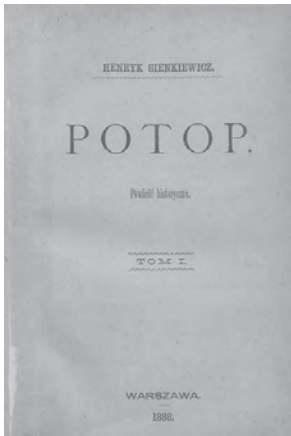
さて、大洪水とは？ ポーランドに諸々の外国勢力が押し寄せて侵略を繰り返した時代を、大洪水にたとえたのである。当時のポーランドは王国であり、隣のリトアニア大公国と同君連合国の形態をとって、つまりポーランドの王とリトアニアの大公を同一人物が兼ねるかたちで、ポーランド・リトアニア共和国を形成し、大国として威勢を誇っていた。版図にはウクライナも含まれていた。大洪水時代のきっかけは、ウクライナで起きたコサックの大反乱である。ウクライナの根幹部といってもよいドニエプル川から黒海の流域は、コサックたちの世界だった。コサックとは民族の名称ではあるまい。狭義のウクライナ人に限らずロシア人など多民族の混成による社会的なグループであろう。今日のウクライナ東部やロシア南部をなす、ドン川からアゾフ海・黒海のエリアも、ドニエ

プル川流域同様にコサックたちの居場所となっていた。

コサックは日本の武士とも似る。戦闘を主たる仕事とする。自由を求め、馬賊や海賊として振る舞う。13世紀にキエフ大公国を滅ぼし、以来、長くウクライナの地を支配したモンゴルの騎馬軍団を模倣して、特に騎兵のわざに優れている。傭兵となって外国に出稼ぎに行く。牧畜や漁業や運送業にも従事する。とにかく自由な戦士としての誇りを持ち、自主独立の気概にあふれている。ポーランド・リトアニア共和国は、ウクライナのコサックを手なずけることに常にてこずり、1648年の大反乱を招いてしまう。ウクライナのコサック、フメリニツキーがポーランド貴族といさかいを起こし、それをきっかけに、ドニエプル川流域のコサックたちが、フメリニツキーを盟主として反旗を翻し、反乱軍はポーランド本土に侵入して、一時はワルシャワにも迫る。シェンキェヴィチの『火と剣とをもつ

て』は、フメリニツキーとポーランドやリトアニアの軍事貴族との激闘を描く。結局、フメリニツキーはポーランドに対抗するためにロシアを後ろ盾とし、ウクライナがポーランドに代わってロシアに支配されるきっかけを作る。

山田は『火と剣とをもつて』を知っていたろうが、実際に読んだかどうかはわからない。とにかく続きの『大洪水』にははまった。『大洪水』で押し寄せてくるのはスウェーデンである。フメリニツキーの大反乱で、共和国の威信は大きく低下した。そこでリトアニアの軍事貴族、ヤヌシュ・ラジヴィウとその一族が陰謀をめぐらす。彼は分離主義者である。ポーランドとリトアニアがいつまでも同君連合を続けなければならぬ理由はあるまい。お互いに近しさがあるとはいえ、やはり別の民族である。フメリニツキーの乱によって生じた一種の混沌状態に乗じて、リトアニアの分離独立をはかろう。そこでラジヴィウが頼んだのはスウェーデンである。



左：ヘンリク・シェンキェヴィチ  
(ヤン・ミェチコフスキ撮影、ポーランドマゾヴィエツキ公立図書館所蔵)  
上：『大洪水』初版(ポーランド語版、1886)

1655年にスウェーデン軍はポーランドへの大規模侵攻を始める。スウェーデンと結んだプロイセン・ブランデンブルク侯国の軍勢も1656年に、トランシルヴァニアのラーコーツィの軍勢も1657年に、それぞれポーランドに入り込む。ロシアの後ろ盾を得たウクライナのコサックもあらためて反抗的になってくる。これぞ外国軍隊の大洪水時代だ。『大洪水』は、そんな危機からポーランド・リトアニア共和国を必死に守る愛国者たちのイメージを、架空のヒーローに結晶させる。外憂を積極的がいゆうに招き込み、共和国を分断しようとするリトアニアのラジヴィウ家の謀はかりごとを、主人公が打ち砕く。分裂から祖国を守った英雄！山田は、ヒーローが自分か、自分がヒーローかわからなくなったという。その感想を病中からの手記として日本交響楽協会の機関誌に載せた。

含みは明らかだろう。せっかく立ち上がった日本交響楽協会に分離主義者が跋扈ばんこしているのではないか。山田が病気で現場から離れているうちに、陰謀が進行しているのではないか。日本交響楽協会というオーケストラは、ポーランドとリトアニアの連合体と似ていなくもない。山田派このえひでまろと近衛秀麿派の連合体とみなせるからだ。そこに分裂の危機が迫っているのか。山田は何かを強く感じている。自らが『大洪水』の主人公となって、オーケストラを維持しなければならぬ。そのつもりを山田は『大洪水』を借りて示唆したのだろう。

予約演奏会の滑り出しは好調だったが……

たしかに日本交響楽協会に早くも危機が訪れていた。とはいえ、実はその危機は、山田自らが招き、周囲を呆あきれさせたゆえにもたらされ

たと考えてよい。もっとも、真相は藪やぶの中。証拠も証言も少なすぎる。当時のジャーナリズムも話を面白くしようとするばかりで、経緯の核心に迫る報道がない。それでも情況から次のように推理することはできるだろう。

日本交響楽協会の活動は、1925(大正14)年12月5日、丸の内の報知講堂で、フランクの《交響曲ニ短調》やギュスターヴ・シャルパンティエの《組曲「イタリアの印象」》などのフランスもののプログラムを山田が指揮した、第4回演奏会で一区切りとなる。そこで予約演奏会会員、今日流に言えば定期演奏会員を募集しての、予約演奏会制に移行する。日本交響楽協会は、社団法人東京放送局の大きな賛助を得て、本格的なスタートを切ったが、賛助金や放送出演料や単発のコンサートの収入では、楽員に十分な給与を払うだけの余裕が得られない。そこで“定期会員”を当初は1000人、途中から2000人獲得することをめざすと宣言して、師走から会員募集を始め、1926(大正15)年1月24日、記念すべき第1回予約演奏会を開催した。会場は神宮外苑に開館したばかりの日本青年館。同館は全国に展開されていた青年団運動の拠点として、財団法人日本青年館により建設された。ホテルの機能もあるが、なんといっても全国の青年団の大会が開ける大ホールが目玉である。客席は2000。予約会員の目標が2000人というのは、1回券を売らずとも毎回満席ということだ。そうなれば、楽員たちも、映画館やホテルで演奏していた頃に匹敵する高給を得られるだろう。低賃金の暮らしを脱出できるだろう。その夢に燃えて、山田と近衛と楽員たちは予約演奏会を始めた。そのはずだった。

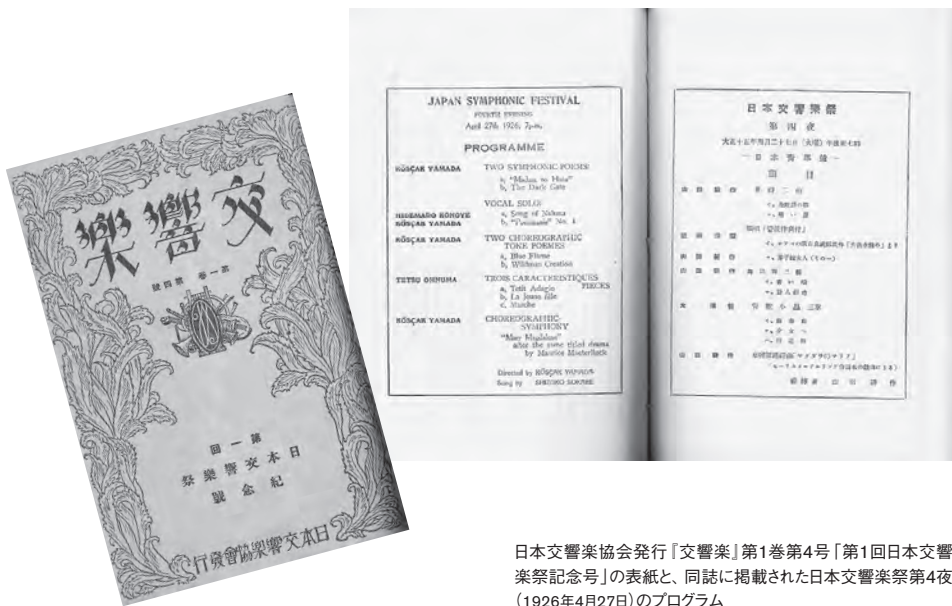
第1回の曲目は、ベートーヴェンの《交響曲第3番「英雄」》、モツルの編曲によるグルック

のオペラからのバレエ曲集、ワーグナーの《ニュルンベルクのマイスタージンガー》からの管弦楽曲集。指揮は山田でなく近衛である。山田よりも近衛のほうが指揮は上手いし、聴衆もより集まる。すでに定評ができていた。だから第1回はどうしても近衛。月2回の予約演奏会は、近衛が先行で奇数回、山田が後攻で偶数回というパターンができた。第2回は月末ギリギリの1月31日に滑り込み的に行われ、山田がドヴォルザークの《交響曲第9番「新世界から」》(当時は《第5番》)、グリークの《交響的舞曲》、シベリウスの《フィンランディア》を指揮した。

ちなみに会場の日本青年館を運営する財団法人の初代理事長は近衛文麿<sup>ふみまろ</sup>である。秀麿の兄だ。兄が弟を助けていた。そこでは山田は蚊帳の外<sup>かや</sup>といってよかった。指揮者としての能力、人気に加えて応援団のクオリティでも、どうやら近衛秀麿が上。楽員も、もともと近衛シンフォニー・オーケストラのメンバーとして活動し

ていた人たちが多数派なのだから、楽団内での人望も信頼度も近衛が上。山田が後藤新平や放送局との回路を上手にを使って、近衛を従え、率いているはずの日本交響楽協会は、実態においてはやはり近衛のオーケストラであった。山田はそれを百も承知であり、そのうえでポーランド・リトアニア共和国ならぬ山田・近衛共和国の維持にかけようとしていた。そのはずだった。

予約会員も、1925(大正14)年12月に280人、翌年1月に473人、2月に580人、3月に619人、4月に638人、5月に684人、6月に715人と、春からはあまり増えなくなったとはいえ、いちおう右肩上がりだった。オーケストラの収入も確実に増えている。予約演奏会と放送出演に集中し、技量をあげて、評価を高め、無駄なことにお金を使わず、増収分は楽員の待遇改善に回されてゆくべき。それが楽団のコンセンサスのはずだった。



日本交響楽協会発行「交響楽」第1巻第4号「第1回日本交響楽祭記念号」の表紙と、同誌に掲載された日本交響楽祭第4夜(1926年4月27日)のプログラム

## 「コサック」山田の横暴に高まる不協和音

ところが山田はそういう堅実性に従えないあまりに自由な芸術家だった。彼は自分の名前を横文字では“Kóścak”と綴ること（<sup>ツブ</sup>）に決めていた。日本語のコーサクに近い発音を西洋人にしてもらうには最適の綴りとして山田が工夫したものだが、そこにはもちろん“kossak”が掛けられている。自由人として勝手に振る舞うコサック魂こそ山田の本性だ。

そんな山田は予約演奏会での増収分を楽員に還元するどころか、大赤字を出しそうな特別演奏会の開催に突き進んだ。予約演奏会を始めて間もない1926(大正15)年4月のことである。なんと、吹奏楽のみならず管弦楽演奏にも熱烈に取り組んでいた陸海軍軍楽隊を招き(おそらく東京音楽学校のオーケストラも巻き込みようとして運動したのだが、それは失敗に終わったようである)、日本交響楽祭を行った。4月の24日から27日まで4日連続。初日は日比谷公園で、陸海軍軍楽隊と日本交響楽協会だけでなく、映画館やレストランの楽士も加えて、150人の臨時編成のオーケストラを作り、派手な大管弦楽コンサートを挙行。メイン・プログラムは山田の《交響曲「明治頌歌」》。陸軍軍楽隊の辻順治が指揮した。2日目以降は日本青年館に会場を移し、日本交響楽協会が出演し、臨時のメンバーも加えた。2日目は近衛秀麿指揮によるモーツァルトやチャイコフスキー、3日目はヨーゼフ・ケーニヒ指揮によるリムスキー・コルサコ

フとボロディンとリャードフ。そして4日目、最終日は山田の登場。《曼陀羅の華》、《暗い扉》、《青い焰》、《野人創造》、《マグダラのマリア》。以上の自作自演に、近衛の管弦楽伴奏による歌曲《ナアマの歌》と、陸軍軍楽隊の大沼哲の《管弦小品三章》を加えた。

要するに山田は、月2回の予約演奏会でたいへんな日本交響楽協会のスケジュールに、強引に4日連続の大催事をつっ込んだ。指揮者としては近衛が上かもしれないが、日本の誇る大作曲家は山田以外にないといちじりレーションした。この交響楽祭は著しく不入りだったということだから、つまり大赤字を出したと思われる。楽員の待遇改善もへちまもない。せっかく予約演奏会を始めたというのに給与は上がらぬまま。山田が無茶な真似をして、経理に大穴をあけた。大洪水的惨状というほかはない。

交響楽祭終了直後、山田は高熱を出して倒れ、療養生活に入り、『大洪水』を読んで妄想や空想にふけるようになる。仮病であった可能性も否定できない。このとき山田は、近衛にも楽員にも見捨てられたのであろう。新交響楽団誕生前夜である。

### 文 | 片山杜秀(かたやま もりひで)

思想史研究者、音楽評論家。慶應義塾法学部教授。2008年、『音盤考現学』『音盤博物誌』で吉田秀和賞、サントリー学芸賞を受賞。『クラシックの核心』『ゴジラと日の丸』『近代日本の右翼思想』『未完のファシズム』『見果てぬ日本』『尊皇攘夷』ほか著書多数。

#### 次回予告

遂に近衛秀麿派が分離・独立して新交響楽団立ち上げ！ ヨーゼフ・ケーニヒが指揮者として招かれ、楽団の演奏水準向上に貢献します。



# 2022年6月定期公演の聴きどころ

## 公演企画担当者から

6月の指揮台に立つのはステファヌ・ドゥネーヴと鈴木優人。各曲を有機的に関連づけるプログラミングは、2人の得意とするところ。工夫に富んだ選曲と演奏をお楽しみ頂きたい。

### ドゥネーヴが誘う耽美的な 近代フランス音楽の世界

万国博覧会をきっかけとして、19世紀末から20世紀初頭のパリでは、オリент趣味が流行した。異国情緒たっぷりの芸術が次々に生まれたが、[池袋Aプログラム]はその成果にスポットライトを当てる。

デュカス《ペリ》はペルシャを舞台に、不老不死の花を手に入れようとして夢破れる国王の物語。ラヴェル《シェエラザード》を歌うのは、昨年、新国立劇場の《カルメン》で主役を務めたステファニー・ドゥストラック。《カルメン》に似たオーボエの主題を聴けば、たちまちアラビアン・ナイトの幻想的で妖艶な世界に誘われることだろう。

マラルメの詩に靈感を受けたドビュッシー

《牧神の午後への前奏曲》が、白昼のけだるい夢想を描いたのち、プログラムはフロラン・シュミット《サロメの悲劇》で締めくくられる。官能的な踊りの褒美にヨハネの首を手に入れたサロメは、やがて神の怒りを買って身を滅ぼす。全体に通底するのは、未知の世界への憧れと、求めて果たせぬ思慕の念である。

### 狂騒の20年代 ——パリとアメリカの作品を聴く

時代は下って「狂騒の20年代」と呼ばれた戦間期。ジャズやダンスホールなど、アメリカの大衆文化がパリに流入し、華やかな活気を生んだ。[池袋Cプログラム]はこの時期、互いに影響を与えあったフランスとアメリカの音楽がテーマである。

パーティで浮かれる若い娘たちを描いたプーランク《牝鹿》は、当時の世相を反映しているが、曲の一部にはアメリカで流行したラグタイムのリズムが取り入れられている。

同じ頃《ラプソディー・イン・ブルー》でブレイク

した若きガーシュウィンがパリを訪れた。この時の印象を音楽にした《パリのアメリカ人》は、本物のクラクションを使って大都会の喧騒を描く。曲の冒頭はプーランクを一員とする「六人組」のスタイルだ。

厳粛な宗教性を帯びた《オルガン協奏曲》の初演は1938年。東の間の繁栄は終わろうとしていた。この曲はシャルル・ミュンシュ指揮のボストン交響楽団をはじめ、戦後のアメリカで度々演奏された。ミュンシュ、小澤征爾の流れを汲むドゥネーヴにとっては思い入れの強い作品。彼が最も信頼を置くオリヴィエ・ラトリのソロで聴く。

### コンサートを貫く古典形式の美を堪能する

[Bプログラム]では、オルガンの代表的名曲《パッサカリアとフーガ》を、バッハとともに生ま




れ育った鈴木優人の編曲で。低音旋律の回復の上に、豊かな変奏が織りなされる「パッサカリア」。この音楽形式に我々が惹かれるのは、同じような日常を繰り返しながら、いつしか遠い場所に行き着く人生に似ているためか。

続くブリテン《ヴァイオリン協奏曲》の第3楽章もパッサカリアで書かれているが、宗教的確信に満ちたバッハとは対照的に、20世紀を生きたブリテンは苦悩と希望の狭間で揺れ動く。この4月からN響ゲスト・アシスタント・コンサートマスターを務める郷古廉の意欲的挑戦に期待したい。

後半もバッハに呼応して、フィナーレに壮大なフーガを持つモーツァルト《交響曲第41番》。人智を超越した構築力はローマ神話の最高神「ジュピター」の名にふさわしい。

[西川彰一／NHK交響楽団演奏制作部長]

※ mélomane : フランス語で「音楽愛好家」の意

池袋	A	6/11 土 6:00pm	デュカス／バレエ音楽「ペリ」(ファンファーレつき)	
		6/12 日 2:00pm	ラヴェル／シェエラザード* ドビュッシー／牧神の午後への前奏曲 フロラン・シュミット／バレエ組曲「サロメの悲劇」作品50 指揮：ステファヌ・ドゥネーヴ メゾ・ソプラノ：ステファニー・ドゥストラック*	
東京芸術劇場				
B	6/22 水 7:00pm	6/23 木 7:00pm	バッハ(鈴木優人編)／パッサカリアとフーガ 八短調 BWV582	
	ブリテン／ヴァイオリン協奏曲 作品15 モーツァルト／交響曲 第41番 八長調 K. 551「ジュピター」 指揮：鈴木優人 ヴァイオリン：郷古廉			
サントリーホール				
池袋	C	6/17 金 7:30pm	プーランク／バレエ組曲「牝鹿」	
		6/18 土 2:00pm	プーランク／オルガン協奏曲ト短調 ガーシュウィン／パリのアメリカ人 指揮：ステファヌ・ドゥネーヴ オルガン：オリヴィエ・ラトリ	
東京芸術劇場				

# 2021-22定期公演プログラム

2022  
05

池袋  
A

第1956回  
5/14 [土] 6:00pm  
5/15 [日] 2:00pm

東京芸術劇場  
コンサートホール

こたわりの名匠と一から再構築するシューベルトの巨大な音楽遺産  
シューマン／ヴァイオリン協奏曲 二短調  
シューベルト／交響曲 第8番 八長調 D.944「ザ・グレート」

指揮：マレク・ヤノフスキ ヴァイオリン：アリョーナ・バーエフ

一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥5,500
A ¥7,400	A ¥4,500
B ¥5,800	B ¥3,500
C ¥4,700	C ¥2,500
D ¥3,700	D ¥1,500

B

第1958回  
5/25 [水] 7:00pm  
5/26 [木] 7:00pm

サントリーホール

名キャプテン・ルイージと大海原を音楽で航海する  
メンデルスゾーン／序曲「静かな海と楽しい航海」作品27  
ラヴェル／ピアノ協奏曲ト長調  
リムスキー＝コルサコフ／交響組曲「シェエラザード」作品35

指揮：ファビオ・ルイージ ピアノ：小菅 優

一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥5,800
A ¥8,400	A ¥4,800
B ¥6,700	B ¥3,800
C ¥5,400	C ¥2,800
D ¥4,400	D ¥1,800

池袋  
C

第1957回  
5/20 [金] 7:30pm  
5/21 [土] 2:00pm

東京芸術劇場  
コンサートホール

ルイージと丹念に磨き込むウィーン古典派の名品  
モーツァルト／歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲  
モーツァルト／ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K.466  
ベートーヴェン／交響曲 第8番 へ長調 作品93

指揮：ファビオ・ルイージ ピアノ：アレクサンドル・メルニコフ

一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥4,500
A ¥6,500	A ¥4,000
B ¥5,200	B ¥3,000
C ¥4,200	C ¥2,000
D ¥3,200	D ¥1,400

2022  
06

池袋  
A

第1959回  
6/11 [土] 6:00pm  
6/12 [日] 2:00pm

東京芸術劇場  
コンサートホール

フランス音楽と文学の幸せなマリージュ その耽美的な世界に身を委ねる  
デュカス／バレエ音楽「ペリ」(ファンファーレつき)  
ラヴェル／シェエラザード\*

ドビュッシー／牧神の午後への前奏曲  
フロラン・シュミット／バレエ組曲「サロメの悲劇」作品50  
指揮：ステファヌ・ドゥネーヴ メゾ・ソプラノ：ステファニー・ドゥストラック\*

一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥5,500
A ¥7,400	A ¥4,500
B ¥5,800	B ¥3,500
C ¥4,700	C ¥2,500
D ¥3,700	D ¥1,500

B

第1961回  
6/22 [水] 7:00pm  
6/23 [木] 7:00pm

サントリーホール

しなやかに、爽爽と！鈴木優人のモーツァルト《ジュピター》  
パツハ(鈴木優人編)／パッサカリアとフーガ 八短調 BWV582  
ブリテン／ヴァイオリン協奏曲 作品15  
モーツァルト／交響曲 第41番 八長調 K.551「ジュピター」

指揮：鈴木優人 ヴァイオリン：郷古 廉

一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥5,500
A ¥7,400	A ¥4,500
B ¥5,800	B ¥3,500
C ¥4,700	C ¥2,500
D ¥3,700	D ¥1,500

池袋  
C

第1960回  
6/17 [金] 7:30pm  
6/18 [土] 2:00pm

東京芸術劇場  
コンサートホール

仏米2人の作曲家が伝える1920～30年代パリの息吹  
ブーランク／バレエ組曲「牝鹿」  
ブーランク／オルガン協奏曲ト短調  
ガーシュウィン／パリのアメリカ人

指揮：ステファヌ・ドゥネーヴ オルガン：オリヴィエ・ラトリ

一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥4,500
A ¥6,500	A ¥4,000
B ¥5,200	B ¥3,000
C ¥4,200	C ¥2,000
D ¥3,200	D ¥1,400

(料金はすべて税込)

## チケット発売中(定期公演2022年5月・6月)

### 1回券

公演ごとにチケットをお買い求めいただけます。料金は公演によって異なります。上記の各公演の情報をご覧ください。

### WEBセレクト3+

シーズン(3か月)ごとにお好きな公演の1回券を組み合わせるとご購入いただくと割引となる

「WEBセレクト3+」について、SPRINGシーズンは5月・6月の2か月を対象として実施いたします。5月、6月の6プログラム12公演のうち3公演以上まとめて購入すると、1回券の一般料金より約8%割引いたします。座席・席種はお選びいただけます。

(WEBチケットN響のみで販売/割引の併用不可/定期会員の方は1回券の会員割引[約10%割引]をご利用ください)

### ユースチケット

25歳以下の方へのお得なチケットです。N響ガイドにお電話でお申し込みください。感染症予防対策のため、事前に年齢確認のための登録手続きが必要になります(N響ホームページをご覧ください)。

※2021-22シーズンの年間会員券、シーズン会員券の販売は終了いたしました

### お問い合わせ

**N響ガイド** | TEL 03-5793-8161

営業時間：11:00am～5:00pm

定休日：土・日・祝日、定期公演池袋Aプログラムの翌月曜

- 主催公演開催日は曜日に問わず11:00am～開演時刻まで営業
- 発売初日の土・日・祝日は11:00am～3:00pmの営業
- 感染症予防対策のため電話受付のみの営業

### WEBチケットN響(手数料無料) <https://ticket.nhkso.or.jp>

※やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。公演中止の場合をのぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません

# NHK交響楽団定期公演 2022-23シーズンプログラム(2022年9月~2023年6月)

NHKホール改修の終了に伴い、今シーズンからA・Cプログラムの会場を同ホールに戻して開催いたします。また各プログラムのコンセプトの明確化、開演時刻の変更、ユースチケット拡充など、より気軽にN響の演奏をお楽しみいただくためにさまざまな工夫をこらして、みなさまを会場にお迎えます。

新首席指揮者ルイージを中心に、プロムシュテット、P. ヤルヴィ、尾高忠明などの世界的巨匠や名ソリストたちと奏でる音楽に、ひとりでも多くの方が触れていただけることを願っています。

## リニューアルのご案内

新シーズンでは、N響ならではの豪華な出演者や充実した演目は従来通りのままに、リニューアルします。

### 公演会場の変更(A・Cプログラム)

前シーズンまで東京芸術劇場で開催されたAプログラムとCプログラムの会場を、NHKホールに戻して開催します。

※Bプログラムは引き続きサントリーホールで開催します。

### 開演時刻の変更(A・Cプログラム)

Aプログラム2日目(日曜)とCプログラム2日目(土曜)は2:00pmに、Cプログラム1日目(金曜)は7:30pmに、それぞれ開演時刻を変更させていただきます。

※Aプログラム1日目(6:00pm)、Bプログラム1・2日目(7:00pm)の開演時刻に変更はございません。

### ユースチケットの拡充

25歳以下の方へのお得なチケット、ユースチケットが今シーズンからさらにお得になります。

#### 1回券

全券種で割引率を50%以上に設定。今シーズンよりユースチケットが適用されるE席(NHKホール限定)では1000円~(Aプログラム)/800円(Cプログラム)でコンサートをお楽しみいただけます。

#### 定期会員券

D席にユースチケット会員券をご用意。今シーズンからは、A・Bプログラムは1公演あたり900円~、Cプログラムは800円~と、E席1回券(A・Cプログラムのみ)と同等以上のお得な価格でお求めいただけます。

### NHKホール公演のE席を指定席に

NHKホールの3階後方に設けられたE席自由席は、感染症対策などの理由から、今シーズンより指定席として販売させていただきます。この指定席化にあわせ、これまで対象外だった「WEBセレクト3+」(8%OFF)、「定期会員割引」(10%OFF)、「ユースチケット」(50%OFF)をE席でも導入いたします。

### お得なセレクト券「WEBセレクト3+」

WEBセレクト3+(スリープラス)は、昨2021-22シーズンから導入された定期会員券の「お得さ」(割引)と1回券の「使い勝手の良さ」(自由にチケットを選べる)をあわせ持ったチケットです。コロナの影響による相次ぐ発売日等の変更により、2021-22シーズンにその特色を生かせる機会は少なくなりましたが、今シーズンも継続することを決定。自分の好みに合ったコンサートをお得に聴いてみませんか?

#### WEBセレクト3+とは?

AUTUMN(9~11月)、WINTER(12~2月)、SPRING(4~6月)の各シーズン内の公演(9プログラム18公演)のうち、お好きな公演を3つ以上セレクトして、まとめて購入すると1回券の一般料金より約8%の割引。座席や券種は、公演ごとに自由にお選びいただけます(WEBチケットN響のみで販売)。

## 2022-23シーズン定期公演プログラム

### PROGRAM

# A

## NHKホール | 土 6:00pm 日 2:00pm

N響が国内外の最高峰の指揮者やソリストと多彩な曲目をお贈りするプログラム。オーケストラ音楽の醍醐味を存分に味わえます。またNHKホールのスケールの大きさを生かした、声楽入りの作品や大編成の曲目が並ぶのもAプログラムならではの特色です。

※ NHKホールの改修工事の終了にともない、今シーズンより会場をNHKホールに戻して開催します。  
※ 日曜公演の開演時刻を2:00pmに変更させていただきます。

### Autumn

2022

09 September

第1962回

9/10 土 6:00pm

9/11 日 2:00pm

新首席指揮者が最高峰の歌手たちと築く  
音の壮麗な記念碑

ファビオ・ルイーゼ首席指揮者就任記念

ヴェルディ/レクイエム

指揮: ファビオ・ルイーゼ テノール: ルネ・バルベラ  
ソプラノ: ヒブラ・ゲルズマーワ バス: ヨン・グァンチョル  
メゾ・ソプラノ: オレシア・ベトロヴァ 合唱: 新国立劇場合唱団



一般	ユースチケット
S ¥12,000	S ¥6,000
A ¥10,000	A ¥5,000
B ¥8,000	B ¥4,000
C ¥6,500	C ¥3,200
D ¥5,000	D ¥2,500
E ¥3,300	E ¥1,600

2022

10 October

第1965回

10/15 土 6:00pm

10/16 日 2:00pm

マーラー芸術の集大成《交響曲第9番》を  
プロムシュテットが究める

マーラー/交響曲 第9番 二長調

指揮: ヘルベルト・プロムシュテット



一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥4,500
A ¥8,400	A ¥4,000
B ¥6,700	B ¥3,300
C ¥5,400	C ¥2,500
D ¥4,400	D ¥1,800
E ¥2,800	E ¥1,400

2022

11 November

第1968回

11/12 土 6:00pm

11/13 日 2:00pm

完全燃焼への序章 井上道義のお家芸  
伊福部 & ショスタコーヴィチ

伊福部 昭/シンフォニア・タブカーラ

ショスタコーヴィチ/交響曲 第10番 小短調 作品93

指揮: 井上道義



一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥4,000
A ¥7,400	A ¥3,500
B ¥5,800	B ¥2,800
C ¥4,700	C ¥2,100
D ¥3,700	D ¥1,500
E ¥2,000	E ¥1,000

### Winter

2022

12 December

第1971回

12/3 土 6:00pm

12/4 日 2:00pm

ルイーゼ&藤村のコンビで味わう  
19世紀ドイツ・ロマンティシズムの真髄

ワーグナー/ウェーゼンドクンの5つの詩

ブルックナー/交響曲 第2番 小短調 (初稿/1872年)

指揮: ファビオ・ルイーゼ  
メゾ・ソプラノ: 藤村実穂子



一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥4,500
A ¥8,400	A ¥4,000
B ¥6,700	B ¥3,300
C ¥5,400	C ¥2,500
D ¥4,400	D ¥1,800
E ¥2,800	E ¥1,400

2023  
01 January  
第1974回  
1/14 (土) 6:00pm  
1/15 (日) 2:00pm

名匠がブラームスとベートーヴェンの傑作を携え  
3年ぶりに登場!  
ブラームス／ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品83  
ベートーヴェン／交響曲 第4番 変ロ長調 作品60  
指揮：トゥガン・ソヒエフ  
ピアノ：ハオチェン・チャン



一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥4,000
A ¥7,400	A ¥3,500
B ¥5,800	B ¥2,800
C ¥4,700	C ¥2,100
D ¥3,700	D ¥1,500
E ¥2,000	E ¥1,000

2023  
02 February  
第1977回  
2/4 (土) 6:00pm  
2/5 (日) 2:00pm

父・尚忠とその友人たち  
尾高忠明 こだわりの選曲が現代人の魂に響く  
尾高尚忠／チェロ協奏曲 イ短調 作品20  
パヌフニク／カティンの墓碑銘  
ルトスワフスキ／管弦楽のための協奏曲  
指揮：尾高忠明  
チェロ：宮田 大



一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥4,000
A ¥7,400	A ¥3,500
B ¥5,800	B ¥2,800
C ¥4,700	C ¥2,100
D ¥3,700	D ¥1,500
E ¥2,000	E ¥1,000

Spring

2023  
04 April  
第1980回  
4/15 (土) 6:00pm  
4/16 (日) 2:00pm

パーヴォ・ヤルヴィ&N響が大管弦楽で描く  
アルプスの壮大なパノラマ  
R. シュトラウス／「ヨゼフの伝説」から交響的断章  
R. シュトラウス／アルプス交響曲 作品64  
指揮：パーヴォ・ヤルヴィ



一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥4,500
A ¥8,400	A ¥4,000
B ¥6,700	B ¥3,300
C ¥5,400	C ¥2,500
D ¥4,400	D ¥1,800
E ¥2,800	E ¥1,400

2023  
05 May  
第1983回  
5/13 (土) 6:00pm  
5/14 (日) 2:00pm

下野竜也が見つめる“祈り”と“奇跡”  
そしてライブワークのドヴォルザーク  
ラフマニノフ／歌曲集 作品34  
—「ラザロのよみがえり」(下野竜也編)、「ヴォカリーズ」  
グバイドゥーリナ／オッフエルトリウム\*  
ドヴォルザーク／交響曲 第7番 二短調 作品70  
指揮：下野竜也  
ヴァイオリン：バイバ・スクリデ\*



一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥4,000
A ¥7,400	A ¥3,500
B ¥5,800	B ¥2,800
C ¥4,700	C ¥2,100
D ¥3,700	D ¥1,500
E ¥2,000	E ¥1,000

2023  
06 June  
第1986回  
6/10 (土) 6:00pm  
6/11 (日) 2:00pm

“カゼツラリバイバル”の仕掛人  
ノセダが贈る傑作歌劇のエッセンス  
プロコフィエフ／交響組曲「3つのオレンジへの恋」  
作品33bis  
プロコフィエフ／ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 作品16  
カゼツラ／歌劇「蛇女」からの交響的断章[日本初演]  
指揮：ジャンドレア・ノセダ  
ピアノ：アレクサンドル・トラーゼ



一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥4,000
A ¥7,400	A ¥3,500
B ¥5,800	B ¥2,800
C ¥4,700	C ¥2,100
D ¥3,700	D ¥1,500
E ¥2,000	E ¥1,000

(以上、すべて税込)

年間会員券(9回) | S ¥65,970 A ¥56,610 B ¥44,010 C ¥35,730 D ¥27,540 D(ユースチケット) ¥8,100(税込)  
シーズン会員券(3回) | S ¥23,820 A ¥19,860 B ¥15,570 C ¥12,540 D ¥9,480 D(ユースチケット) ¥3,300(税込)

## 2022-23シーズン定期公演プログラム

### PROGRAM

# B

## サントリーホール

水 7:00pm

木 7:00pm

日本を代表するクラシックの殿堂、サントリーホールでお届けするプログラム。モーツァルト、ベートーヴェン、ブラームス、ドヴォルザークなど大作曲家の有名曲を中心に、国際的な指揮者やソリストとともにクオリティの高い演奏をお贈りします。

### Autumn

2022

09 September

第1964回

9/21 水 7:00pm

9/22 木 7:00pm

新首席指揮者が響と取り組む  
ドイツ・オーストリア王道の傑作

ファビオ・ルイーゼ首席指揮者就任記念

ベートーヴェン／ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品61  
ブラームス／交響曲 第2番 二長調 作品73

指揮：ファビオ・ルイーゼ ヴァイオリン：ジェームズ・エーネス



一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥4,500
A ¥8,400	A ¥4,000
B ¥6,700	B ¥3,300
C ¥5,400	C ¥2,500
D ¥4,400	D ¥1,800

2022

10 October

第1967回

10/26 水 7:00pm

10/27 木 7:00pm

グリーグとニルセン  
プロムシュテットが愛でる北欧の名作

グリーグ／ピアノ協奏曲 イ短調 作品16  
ニルセン／交響曲 第3番 作品27「広がり」

指揮：ヘルベルト・プロムシュテット  
ピアノ：オリ・ムストネン



一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥4,500
A ¥8,400	A ¥4,000
B ¥6,700	B ¥3,300
C ¥5,400	C ¥2,500
D ¥4,400	D ¥1,800

2022

11 November

第1970回

11/23 水祝 7:00pm

11/24 木 7:00pm

エキスパートのタクトで味わう  
英国作曲界の巨人による叙情あふれる名作

ヴォーン・ウィリアムズ生誕150年

ヴォーン・ウィリアムズ／  
「富める人とラザロ」の5つのヴァリエーション  
メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64

ヴォーン・ウィリアムズ／交響曲 第5番 二長調  
指揮：レナード・スラットキン ヴァイオリン：レイ・チェン



一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥4,000
A ¥7,400	A ¥3,500
B ¥5,800	B ¥2,800
C ¥4,700	C ¥2,100
D ¥3,700	D ¥1,500

### Winter

2022

12 December

第1973回

12/14 水 7:00pm

12/15 木 7:00pm

ルイーゼの指揮、河村尚子のピアノで  
“究極”の名曲を堪能する

グリンカ／歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲  
ラフマニノフ／ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18  
ドヴォルザーク／交響曲 第9番 ホ短調 作品95  
「新世界から」

指揮：ファビオ・ルイーゼ ピアノ：河村尚子



一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥4,500
A ¥8,400	A ¥4,000
B ¥6,700	B ¥3,300
C ¥5,400	C ¥2,500
D ¥4,400	D ¥1,800

2023  
01 January  
第1976回  
1/25 水 7:00pm  
1/26 木 7:00pm

色彩の魔術師ソビエフがセレクトする  
20世紀の名品たち

バルトーク／ヴィオラ協奏曲  
ラヴェル／「ダフニスとクロエ」組曲 第1番、第2番  
ドビュッシー／交響詩「海」  
指揮：トゥガン・ソビエフ  
ヴィオラ：アミハイ・グロス



一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥4,000
A ¥7,400	A ¥3,500
B ¥5,800	B ¥2,800
C ¥4,700	C ¥2,100
D ¥3,700	D ¥1,500

2023  
02 February  
第1979回  
2/15 水 7:00pm  
2/16 木 7:00pm

大器フルシャ、母国チェコの愛国的作品と  
ブラームスの名作を携えN響再登場  
ドヴォルザーク／序曲「フス教徒」作品67  
シマノフスキ／交響曲 第4番 作品60「協奏交響曲」\*  
ブラームス／交響曲 第4番 ホ短調 作品98  
指揮：ヤクブ・フルシャ  
ピアノ：ピョートル・アンデルシェフスキ\*



一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥4,000
A ¥7,400	A ¥3,500
B ¥5,800	B ¥2,800
C ¥4,700	C ¥2,100
D ¥3,700	D ¥1,500

## Spring

2023  
04 April  
第1982回  
4/26 水 7:00pm  
4/27 木 7:00pm

シベリウス、ラフマニノフ、チャイコフスキー  
バーヴォ・ヤルヴィの十八番でその至芸を聴く  
シベリウス／交響曲 第4番 イ短調 作品63  
ラフマニノフ／バガニニの主題による狂詩曲 作品43\*  
チャイコフスキー／幻想曲「フランチェスカ・ダ・リミニ」  
作品32  
指揮：バーヴォ・ヤルヴィ ピアノ：マリー・アンジュ・グッチ\*



一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥4,500
A ¥8,400	A ¥4,000
B ¥6,700	B ¥3,300
C ¥5,400	C ¥2,500
D ¥4,400	D ¥1,800

2023  
05 May  
第1985回  
5/24 水 7:00pm  
5/25 木 7:00pm

新緑の季節 清々しいホルンの響きと  
ルイージが誘う《田園》  
ハイドン／交響曲 第82番 八長調 Hob. I-82「くま」  
モーツァルト／ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K. 447  
ベートーヴェン／交響曲 第6番 八長調 作品68「田園」  
指揮：ファビオ・ルイージ  
ホルン：福川伸陽



一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥4,500
A ¥8,400	A ¥4,000
B ¥6,700	B ¥3,300
C ¥5,400	C ¥2,500
D ¥4,400	D ¥1,800

2023  
06 June  
第1988回  
6/21 水 7:00pm  
6/22 木 7:00pm

ノセダがメモリアルイヤーに問う  
ラフマニノフ初期作の真価  
バッハ（レスピーギ編）／3つのコラール  
レスピーギ／グレゴリオ風協奏曲\*  
ラフマニノフ／交響曲 第1番 二短調 作品13  
指揮：ジャンンドレア・ノセダ  
ヴァイオリン：庄司紗矢香\*



一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥4,000
A ¥7,400	A ¥3,500
B ¥5,800	B ¥2,800
C ¥4,700	C ¥2,100
D ¥3,700	D ¥1,500

(以上、すべて税込)

年間会員券(9回) | S ¥65,970 A ¥56,610 B ¥44,010 C ¥35,730 D ¥27,540 D(ユースチケット) ¥8,100(税込)

※Bプログラムではシーズン会員券の販売は行いません



## 2022-23シーズン定期公演プログラム

### PROGRAM



# NHKホール | 金 7:30pm 土 2:00pm

通常よりコンパクトな60分～80分程度に公演時間を凝縮し、世界的指揮者たちとともにとびきりの名作をリーズナブルな価格でお届けします。今シーズンからは曲間に解説をまじえるなど、より親しみやすいコンサートを目指します。

※ NHKホールの改修工事の終了にともない、今シーズンより会場をNHKホールに戻して開催します。

※ 休憩のない、60～80分程度の公演となります。

※ 全曜公演の開演時刻を7:30pm、土曜公演の開演時刻を2:00pmに変更させていただきます。

[Cプログラム限定]「開演前の室内楽」 1日目は6:45pm、2日目は1:15pmよりホールの舞台上で開催します。ご自身の座席で約15分のN響メンバーによるミニコンサートをお楽しみください。室内楽演奏中の客席への出入りは自由です。

### Autumn

2022

09 September

第1963回

9/16 金 7:30pm

9/17 土 2:00pm

ルイーゼ& N響が紡ぐ  
R. シュトラウスの豊潤な響きに身をゆだねる

ファビオ・ルイーゼ首席指揮者就任記念

R. シュトラウス／交響詩「ドン・ファン」作品20

R. シュトラウス／オーボエ協奏曲 二長調

R. シュトラウス／歌劇「ばらの騎士」組曲

指揮：ファビオ・ルイーゼ オーボエ：エヴァ・スタイナー



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

2022

10 October

第1966回

10/21 金 7:30pm

10/22 土 2:00pm

巨匠が愛情をこめて奏でる  
シューベルトの知られざる名作

シューベルト／交響曲 第1番 二長調 D. 82

シューベルト／交響曲 第6番 八長調 D. 589

指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

2022

11 November

第1969回

11/18 金 7:30pm

11/19 土 2:00pm

アメリカ音楽の伝道師スラットキンの  
コーブランド名バラエ音楽集

コーブランド／バラエ音楽「アパラチアの春」(全曲)

コーブランド／バラエ音楽「ロデオ」(全曲)

指揮：レナード・スラットキン



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

### Winter

2022

12 December

第1972回

12/9 金 7:30pm

12/10 土 2:00pm

モーツァルトの輝き、メンデルスゾーンの哀愁  
ルイーゼが描き出す鮮烈なコントラスト

モーツァルト／交響曲 第36番 八長調 K. 425「リンツ」

メンデルスゾーン／交響曲 第3番 イ短調 作品56

「スコットランド」

指揮：ファビオ・ルイーゼ



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

2023  
01 January  
第1975回  
1/20 金 7:30pm  
1/21 土 2:00pm

名匠が贈る  
ラフマニノフ、チャイコフスキーの初期の名作  
ラフマニノフ／幻想曲「岩」作品7  
チャイコフスキー／交響曲 第1番ト短調 作品13  
「冬の日の幻想」  
指揮：トウガン・ソヒエフ



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

2023  
02 February  
第1978回  
2/10 金 7:30pm  
2/11 土 祝 2:00pm

愛、怒り、高揚、憧れ、幻想  
——ダンスに込められた心の機微を  
フルシャが浮き上がらせる  
バーンスタイン／「ウエスト・サイド・ストーリー」から  
シンフォニック・ダンス  
ラフマニノフ／交響的舞曲 作品45  
指揮：ヤクブ・フルシャ



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

## Spring

2023  
04 April  
第1981回  
4/21 金 7:30pm  
4/22 土 2:00pm

小粒でもピリリと辛い！  
パーヴォ・ヤルヴィが贈るお洒落で小粋なフランス作品集  
ルーセル／弦楽のためのシンフォニエッタ 作品52  
ブーランク／シンフォニエッタ  
イベール／室内管弦楽のためのディヴェルティスマン  
指揮：パーヴォ・ヤルヴィ



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

2023  
05 May  
第1984回  
5/19 金 7:30pm  
5/20 土 2:00pm

19世紀末のフランスを象徴する交響楽の名品を  
ルイージの指揮で聴く  
サン・サーンス／ピアノ協奏曲 第5番 へ長調 作品103  
「エジプト風」  
フランク／交響曲 二短調  
指揮：ファビオ・ルイージ  
ピアノ：バスカル・ロジェ



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

2023  
06 June  
第1987回  
6/16 金 7:30pm  
6/17 土 2:00pm

満を持して、N響で初披露  
ノセダ得意のショスタコーヴィチ《第8番》  
ショスタコーヴィチ／交響曲 第8番 八短調 作品65  
指揮：ジャンドレア・ノセダ



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

(以上、すべて税込)

年間会員券(9回) | S ¥56,610 A ¥49,725 B ¥39,780 C ¥32,130 D ¥24,480 D(ユースチケット) ¥7,200(税込)  
シーズン会員券(3回) | S ¥19,890 A ¥17,520 B ¥14,010 C ¥11,250 D ¥8,550 D(ユースチケット) ¥3,000(税込)

# チケットのご案内(定期公演 2022年9月～2023年6月)

## 定期会員券

毎回同じ座席をご用意。1回券と比べて1公演あたり10～30%お得です！(割引率は公演や券種によって異なります)

※ A-CプログラムはNHKホール改修工事の終了にともない、今シーズンより会場をNHKホールに戻して開催します

※ A-2とC-2の開演時刻は2:00pm、C-1の開演時刻は7:30pmとさせていただきます。A-1(6:00pm)、B-1、B-2(7:00pm)の開演時刻に変更はございません

発売開始日	年間会員券、シーズン会員券(Autumn)	2022年7月14日[木](定期会員先行) / 2022年7月18日[月・祝](一般)
	シーズン会員券(Winter)	2022年10月13日[木](定期会員先行) / 2022年10月19日[水](一般)
	シーズン会員券(Spring)	2023年2月14日[火](定期会員先行) / 2023年2月17日[金](一般)

## 料金(税込)

券種	S	A	B	C	D	D(ユースチケット)
年間会員券(9回) [A・Bプログラム]	¥65,970 (¥7,330)	¥56,610 (¥6,290)	¥44,010 (¥4,890)	¥35,730 (¥3,970)	¥27,540 (¥3,060)	¥8,100 (¥900)
年間会員券(9回) [Cプログラム]	¥56,610 (¥6,290)	¥49,725 (¥5,525)	¥39,780 (¥4,420)	¥32,130 (¥3,570)	¥24,480 (¥2,720)	¥7,200 (¥800)

券種	S	A	B	C	D	D(ユースチケット)
シーズン会員券(3回) [Aプログラム]	¥23,820 (¥7,940)	¥19,860 (¥6,620)	¥15,570 (¥5,190)	¥12,540 (¥4,180)	¥9,480 (¥3,160)	¥3,300 (¥1,100)
シーズン会員券(3回) [Cプログラム]	¥19,890 (¥6,630)	¥17,520 (¥5,840)	¥14,010 (¥4,670)	¥11,250 (¥3,750)	¥8,550 (¥2,850)	¥3,000 (¥1,000)

※( )内は1公演あたりの単価

## 1回券

公演ごとにチケットをお買い求めいただけます。料金は公演によって異なります。各公演の情報をご覧ください。

発売開始日	9・10・11月	2022年8月発売予定(定期会員先行/一般)
	12・1・2月	2022年10月発売予定(定期会員先行/一般)
	4・5・6月	2023年3月発売予定(定期会員先行/一般)

※発売日は決まり次第、N響ホームページ等で発表いたします

※発売予定時期は変更となる場合があります

## WEBセレクト3+

Autumn(9～11月)、Winter(12～2月)、Spring(4～6月)の各シーズン内の公演(9プログラム18公演)のうち、3公演以上まとめて購入すると、1回券の一般料金より約8%割引いたします。座席・券種は自由にお選びいただけます。

- ※ お取り扱いにはWEBチケットN響のみとなります
- ※ 1回券の一般発売日からご利用いただけます
- ※ 割引の併用はできません
- ※ 定期会員の方は1回券の会員割引(約10%割引)をご利用ください

## ユースチケット

25歳以下の方へのお得なチケットです。1回券と定期会員券(D席)でご利用いただけます。料金は各公演の情報をご覧ください。

- ※ N響が1日のみの販売となります
- ※ 25歳以下の証明となるものをご提示いただけます

## お問い合わせ

**N響ガイド | TEL 03-5793-8161**

営業時間: 11:00am～5:00pm

定休日: 土・日・祝日、定期公演Aプログラムの翌月曜

- 主催公演開催日は曜日に関わらず11:00am～開演時刻まで営業
- 発売初日の土・日・祝日は11:00am～3:00pmの営業
- 感染症予防対策のため電話受付のみの営業

WEBチケットN響(手数料無料) <https://ticket.nhks.or.jp>

※やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。公演中止の場合をのぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません

Please follow us on



## 特別公演

---

### 7/1金 7:00pm | Music Tomorrow 2022

---

東京オペラシティ コンサートホール | ※尾高賞授賞式・プレトーク：6:30pm～

---

指揮：イラン・ヴォルコフ チェロ：オーレン・シェヴリン ヴァイオリン：ヴェロニカ・エーベルレ  
ピアノ：フランソワ・フレデリック・ギイ

西村 朗／華開世界—オーケストラのための(2020) [第69回「尾高賞」受賞作品]

岸野末利加／チェロとオーケストラのための「What the Thunder Said／雷神の言葉」(2021)  
[第69回「尾高賞」受賞作品・日本初演]

細川俊夫／ヴァイオリン協奏曲「ゲネシス(生成)」(2020) [NHK交響楽団／ハンブルク・フィル／香港シフォニエッタ／広島交響楽  
団／ブラハ放送交響楽団／グラフェネッグ音楽祭共同委嘱作品・日本初演]

ミュライユ／「嵐の目」—ピアノとオーケストラのための幻想即興曲(2021) [NHK交響楽団／フランス放送フィル／  
BBCラジオ3／NDRエルプフィル共同委嘱作品・日本初演]

料金(税込)：一般 | S席3,500円 A席2,500円 B席1,500円  
WEBチケットN響 特別料金 | S席3,000円 A席2,000円 B席1,000円

チケット発売日：5月19日(木)11:00am  
N響定期会員先行発売日：5月17日(火)11:00am

主催：NHK／NHK交響楽団

共催：公益財団法人 東京オペラシティ文化財団

助成：公益財団法人 三菱UFJ信託芸術文化財団／公益財団法人 ロームミュージックファンデーション／公益財団法人 アフィニス文化財団

---

### 7/15金 7:00pm | N響「夏」2022

---

NHKホール

---

指揮：尾高忠明 ピアノ：小曽根 真  
ラフマニノフ／ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18  
チャイコフスキー／交響曲 第4番 ヘ短調 作品36

料金(税込)：一般 | S席7,300円 A席5,300円 B席3,300円 C席2,100円  
ユースチケット(25歳以下) | S席5,200円 A席3,800円 B席2,350円 C席1,500円  
※定期会員は一般料金から10%割引

チケット発売日：5月19日(木)11:00am  
N響定期会員先行発売日：5月17日(火)11:00am

主催：NHK／NHK交響楽団

協賛：岩谷産業株式会社

## 7/31回 3:30pm | 夏だ! 祭りだ!! N響ほっとコンサート～みんなNHKホールにあつまろう～

### NHKホール

指揮:下野竜也 ヴァイオリン:ジュニア・ソリスト&篠崎史紀\* チェロ:辻本 玲\*\* 語り・うた:三宅理恵\*\*

ワーグナー／歌劇「ローエングリン」—第3幕への前奏曲

林 光／オーケストラのための童話「セロ弾きのゴーシュ」(宮沢賢治原作)\*\*

J. シュトラウス2世／ウィーンの森の物語 作品325

[マロさん、N響といっしょに演奏しよう]パッハ／2つのヴァイオリンのための協奏曲 二短調 BWV1043—第1楽章\*  
ラヴェル／ボレロ

料金(税込):一般 | S席5,200円 A席4,200円 B席3,000円 C席1,500円

25歳以下 | S席4,000円 A席3,000円 B席2,000円 C席1,000円

小・中学生 | S席2,000円 A席1,500円 B席1,000円 C席500円

※定期会員はS・A・B各席の一般料金から10%割引

チケット発売日:5月19日(木) 11:00am

N響定期会員先行発売日:5月17日(火) 11:00am

主催:NHK/NHK交響楽団

※今回のN響ほっとコンサートで「楽器体験工房」はございません。

#### ジュニア・ソリスト募集

マロさん、N響といっしょに演奏するジュニア・ソリストを募集。ジュニア・ソリストはオーディションで決定します。  
詳しくはN響ホームページ、公式Twitterをチェック!!

## 9/5日 7:00pm | 明電舎 presents N響名曲コンサート2022

### サントリーホール

指揮:沼尻竜典 ヴァイオリン:金川真弓\*

シベリウス／交響詩「フィンランディア」作品26

ブルッフ／スコットランド幻想曲 作品46\*

ブラームス／交響曲 第4番 ホ短調 作品98

料金(税込):一般 | SS席8,500円 S席6,500円 A席5,000円 B席3,500円 C席2,500円

ユースチケット(25歳以下) | SS席6,000円 S席5,000円 A席3,500円 B席2,500円 C席1,500円

※定期会員は一般料金から10%割引

チケット発売日:5月19日(木) 11:00am

N響定期会員先行発売日:5月17日(火) 11:00am

主催:NHK交響楽団

特別協賛:株式会社明電舎

※「25歳以下(ユースチケット)」はN響ガイドにお電話でお申し込みください。感染症予防対策のため、事前に年齢確認のための登録手続きが必要になります(N響ホームページをご覧ください)。  
※ 定期会員割引・先行販売はWEBチケットN響、N響ガイドのみの取り扱いとなります。  
※ N響ガイドでのお申し込みは、公演日の1営業日前までとなります。

※ やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。公演中止の場合をのぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません。  
※ チケットのご購入・ご来場の際には、N響ホームページに掲載の「感染症予防対策についてのご案内」(右記URLおよび右記リンク先)を必ずお読みください。



[www.nhkso.or.jp/news/20200710\\_2.html](http://www.nhkso.or.jp/news/20200710_2.html)

#### WEBチケットN響(手数料無料)

チケットのご予約は、スマートフォンやPCから、  
座席を選んで簡単にチケットが確保できる「WEBチケットN響」が便利です。



お問い合わせ:N響ガイド TEL 03-5793-8161 | ※営業日・営業時間はN響ホームページをご覧ください。

## 各地の公演

---

**5/29日 5:00pm | 沖縄 本土復帰50年 NHK交響楽団演奏会 沖縄公演**

沖縄コンベンションセンター 劇場棟

指揮：ファビオ・ルイーヂ ピアノ：小菅 優  
メンデルスゾーン／序曲「静かな海と楽しい航海」作品27  
ラヴェル／ピアノ協奏曲ト長調  
リムスキー・コルサコフ／交響組曲「シェエラザード」作品35

主催：NHK沖縄放送局／NHK交響楽団  
お問合せ：ハローダイヤル TEL (050) 5542-8600

---

**6/4日 4:00pm | N響ベストクラシックス 秋山和慶×荒井里桜×NHK交響楽団**

かつしかシンフォニーヒルズ モーツァルトホール

指揮：秋山和慶 ヴァイオリン：荒井里桜  
ブルッフ／ヴァイオリン協奏曲 第1番ト短調 作品26  
ブラームス／交響曲 第1番ハ短調 作品68

主催：葛飾区文化施設指定管理者  
お問合せ：かつしかシンフォニーヒルズ TEL (03) 5670-2233

---

**6/5日 3:00pm | 第24回 NHK交響楽団足利定期公演**

あしかがフラワーパークプラザ(足利市民プラザ)・文化ホール

出演者・曲目は6月4日と同じ

主催：(公財)足利市みどり文化・スポーツ財団／足利市教育委員会／下野新聞社  
お問合せ：足利市民プラザ TEL (0284) 72-8511

---

**6/26日 2:00pm | N響×鈴木優人 at 調布国際音楽祭2022**

調布市グリーンホール 大ホール

指揮：鈴木優人 ヴァイオリン：郷古 廉  
バッハ(鈴木優人編)／パッサカリアとフーガ ハ短調 BWV582  
メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64  
モーツァルト／交響曲 第41番 ハ長調 K. 551「ジュピター」

主催：(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団／調布市  
お問合せ：(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団 チケットCHOFU TEL (042) 481-7222

---

**7/5 火 7:00pm | 第19回東京国際音楽コンクール(指揮) 入賞デビュー・コンサート**

---

**東京オペラシティ コンサートホール**

---

エルガー／序曲「南国で」作品50(指揮:バーディー・ベイジェント)  
ワグナー／楽劇「トリスタンとイゾルデ」―「前奏曲と愛の死」(指揮:サミー・ラシッド)  
シューマン／交響曲 第1番 変ロ長調 作品38「春」(指揮:ジョゼ・ソアレス)

主催:MIN-ON  
お問合せ:MIN-ON インフォメーションセンター TEL (03) 3226-9999

---

---

**7/17 回 6:00pm | 第24回NHK交響楽団 松山定期演奏会**

---

**愛媛県民文化会館 メインホール**

---

指揮:尾高忠明 ピアノ:小曽根 真  
ラフマニノフ／ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18  
チャイコフスキー／交響曲 第4番 ヘ短調 作品36

主催:NHK松山放送局／愛媛新聞社／NHK交響楽団  
お問合せ:NHK サービスセンター松山支局 TEL (089) 921-1159

---

---

**7/24 回 5:00pm | NHK交響楽団 東広島特別公演**

---

**東広島芸術文化ホールくらら 大ホール**

---

指揮:角田鋼亮 ピアノ:小山実稚恵  
ベートーヴェン／ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品73「皇帝」  
ベートーヴェン／交響曲 第5番 ハ短調 作品67

主催:東広島芸術文化ホール指定管理者  
お問合せ:東広島芸術文化ホールくららチケットセンター TEL (082) 426-5990

---

---

**7/30 土 4:00pm | フェスタ サマーミュージア KAWASAKI 2022**

---

**ミュージア川崎シンフォニーホール**

---

指揮:下野竜也 ヴァイオリン:三浦文彰  
バッハ(レーガ-編)／コラール前奏曲「おお人よ、おまえの罪に泣け」BWV622  
ブルッフ／ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 作品26  
ベートーヴェン／交響曲 第7番 イ長調 作品92

主催:川崎市／ミュージア川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)  
お問合せ:ミュージア川崎シンフォニーホール TEL (044) 520-0200

---

---

**9/24 土 2:00pm | NHK交響楽団 & ファビオ・ルイーゼ[指揮] 首席指揮者就任記念**

---

**所沢市民文化センター ミューズ アークホール**

---

指揮:ファビオ・ルイーゼ ヴァイオリン:ジェームズ・エーネス  
ベートーヴェン／ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品61  
ブラームス／交響曲 第2番 二長調 作品73

主催:(公財)所沢市文化振興事業団  
お問合せ:ミュージズチケットカウンター TEL (04) 2998-7777

---

---

9/25(日) 5:00pm

開館25周年記念公演 ファビオ・ルイーダ首席指揮者就任記念  
NHK交響楽団 ヴァイオリン：ジェームズ・エーネス

ハーモニーホールふくい 大ホール

出演者・曲目は9月24日と同じ

主催：(公財)福井県文化振興事業団

お問合せ：ハーモニーホールふくいチケットセンター TEL (0776) 38-8282

---

オーチャード定期

Bunkamura オーチャードホール

---

7/9(土) 3:30pm

指揮：沖澤のどか フルート：エマニュエル・バユ\*

プーランク／バレエ組曲「牝鹿」

プーランク(パークリー編)／フルート・ソナタ(管弦楽伴奏版)\*

フォーレ(オーベール編)／幻想曲 作品79\*

ラヴェル／組曲「マ・メール・ロワ」

ラヴェル／ボレロ

主催・お問合せ：Bunkamura TEL (03) 3477-3244



# 特別支援・特別協力・賛助会員

## Corporate Membership

### 特別支援

岩谷産業株式会社	代表取締役社長   間島 寛
三菱地所株式会社	執行役社長   吉田淳一
株式会社 みずほ銀行	頭取   加藤勝彦
公益財団法人 渋谷育英会	理事長   小丸成洋

### 特別協力

BMW ジャパン	代表取締役社長   Christian Wiedmann
全日本空輸株式会社	代表取締役社長   井上慎一
ヤマハ株式会社	代表執行役社長   中田卓也
株式会社 パレスホテル	代表取締役社長   吉原大介

### 賛助会員

・ 常陸宮	・ イーソリューションズ(株) 代表取締役社長   佐々木経世	・ SCSK(株) 執行役員 社長 最高執行責任者 當麻隆昭
・ (株)アートレイ 代表取締役   小森活美	・ EY新日本有限責任監査法人 理事長   片倉正美	・ (株)NHKアート 代表取締役社長   小野木昌史
・ (株)アイシン 取締役社長   吉田守孝	・ (株)井口一世 代表取締役   井口一世	・ (一財)NHK インターナショナル 理事長   黄木紀之
・ 葵設備工事(株) 代表取締役社長   安藤正明	・ 池上通信機(株) 代表取締役社長   清森洋祐	・ NHK 営業サービス(株) 代表取締役社長   山田哲生
・ アサヒグループホールディングス(株) 代表取締役社長兼CEO   勝木敦志	・ 伊東国際特許事務所 所長   伊東忠重	・ (株)NHK エデュケーションal 代表取締役社長   田波宏視
・ (株)朝日工業社 代表取締役社長   高須康有	・ 井村屋グループ(株) 代表取締役会長   浅田剛夫	・ (一財)NHK エンジニアリングシステム 理事長   黄木紀之
・ 朝日信用金庫 理事長   伊藤康博	・ (株)インターネットイニシアティブ 代表取締役会長   鈴木幸一	・ (株)NHK エンタープライズ 代表取締役社長   松本浩司
・ 有限責任 あずさ監査法人 理事長   高波博之	・ (株)ウイングツアー 代表取締役   福田健二	・ (学)NHK 学園 理事長   篠原朋子
・ アットホーム(株) 代表取締役社長   鶴森康史	・ SMBC 日興証券(株) 代表取締役会長   川寄靖之	・ (株)NHK グローバルメディアサービス 代表取締役社長   根本拓也
・ (株)アドバンストオールエフデザイン 代表取締役   田中 進		

- ・(一財)NHK サービスセンター  
理事長 | 黄木紀之
- ・(株)NHK 出版  
代表取締役社長 | 土井成紀
- ・(株)NHK テクノロジーズ  
代表取締役社長 | 野口周一
- ・(株)NHK ビジネスクリエイト  
代表取締役社長 | 石原 勉
- ・(株)NHK プロモーション  
代表取締役社長 | 大美慶昌
- ・(株)NHK 文化センター  
代表取締役社長 | 田中剛志
- ・(一財)NHK 放送研修センター  
理事長 | 黄木紀之
- ・(株)NTTドコモ  
代表取締役社長 | 井伊基之
- ・(株)NTTファシリティーズ  
代表取締役社長 | 松原和彦
- ・ENEOS ホールディングス(株)  
代表取締役社長 社長執行役員  
齊藤 猛
- ・荏原冷熱システム(株)  
代表取締役 | 庄野 道
- ・大崎電気工業(株)  
代表取締役会長 | 渡辺佳英
- ・大塚ホールディングス(株)  
代表取締役社長兼 CEO | 樋口達夫
- ・(株)大林組  
代表取締役社長 | 蓮輪賢治
- ・オールニッポンヘリコプター(株)  
代表取締役社長 | 柳川 淳
- ・岡崎耕治
- ・岡山英世
- ・花王(株)  
代表取締役 社長執行役員  
長谷部佳宏
- ・カシオ計算機(株)  
代表取締役社長 | 櫻尾和宏
- ・鹿島建設(株)  
代表取締役社長 | 天野裕正
- ・(株)加藤電気工業所  
代表取締役社長 | 加藤浩章
- ・角川歴彦

- ・(株)金子製作所  
代表取締役 | 金子晴房
- ・カルチュア・エンタテインメント(株)  
代表取締役社長 | 中西一雄
- ・(株)関電工  
取締役社長 | 仲摩俊男
- ・(株)かんぼ生命保険  
取締役兼代表執行役社長 | 千田哲也
- ・キッコーマン(株)  
取締役名譽会長 | 茂木友三郎
- ・(株)CURIOUS PRODUCTIONS  
代表取締役 | 黒川幸太郎
- ・(株)教育芸術社  
代表取締役 | 市川かおり
- ・(株)共栄サービス  
代表取締役 | 半田 充
- ・(株)共同通信会館  
代表取締役専務 | 牧野和宏
- ・(一社)共同通信社  
社長 | 水谷 亨
- ・キリンホールディングス(株)  
代表取締役社長 | 磯崎功典
- ・キングレコード(株)  
代表取締役 | 村上 潔
- ・(学)国立音楽大学  
理事長 | 山田晴彦
- ・黒澤隆史
- ・京王電鉄(株)  
代表取締役社長 社長執行役員  
紅村 康
- ・京成電鉄(株)  
代表取締役社長 | 小林敏也
- ・KDDI(株)  
代表取締役社長 | 高橋 誠
- ・京浜急行電鉄(株)  
取締役社長 | 川俣幸宏
- ・(仮)社団 恒仁会  
理事長 | 伊藤恒道
- ・(株)コーポレートディレクション  
代表取締役 | 石井光太郎
- ・佐川印刷(株)  
代表取締役会長 | 木下宗昭
- ・佐藤弘康

- ・サフラン電機(株)  
代表取締役 | 藤崎貴之
- ・(株)サンセイ  
代表取締役社長 | 富田佳佑
- ・サントリーホールディングス(株)  
代表取締役社長 | 新浪剛史
- ・(株)ジェイ・ウィル・コーポレーション  
代表取締役 | 佐藤雅典
- ・JCOM(株)  
代表取締役社長 | 岩木陽一
- ・(株)シグマックス・ホールディングス  
代表取締役社長 | 富村隆一
- ・(株)ジャパン・アーツ  
代表取締役社長 | 二瓶純一
- ・(株)集英社  
代表取締役社長 | 廣野眞一
- ・(株)小学館  
代表取締役社長 | 相賀昌宏
- ・(株)商工組合中央金庫  
代表取締役社長 | 関根正裕
- ・庄司勇次朗・恵子
- ・ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
- ・(株)白川プロ  
代表取締役 | 白川亜弥
- ・新赤坂クリニック  
院長 | 松木隆央
- ・信越化学工業(株)  
代表取締役会長 | 金川千尋
- ・新菱冷熱工業(株)  
代表取締役社長 | 加賀美 猛
- ・(株)スカパーJSAT ホールディングス  
代表取締役社長 | 米倉英一
- ・(株)菅原  
代表取締役社長 | 古江訓雄
- ・スズキ(株)  
代表取締役社長 | 鈴木俊宏
- ・住友商事(株)  
代表取締役社長執行役員 CEO  
兵頭誠之
- ・住友電気工業(株)  
社長 | 井上 治
- ・セイコーホールディングス(株)  
代表取締役会長兼グループCEO  
兼グループ CCO | 服部真二
- ・聖徳大学  
学長 | 川並弘純

・西武鉄道(株)  
取締役社長 | 喜多村樹美男

・関彰商事(株)  
代表取締役会長 | 関 正夫

・(株)セノン  
代表取締役 | 小谷野宗靖

・(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント  
代表取締役社長 CEO | 村松俊亮

・損害保険ジャパン(株)  
代表取締役社長 | 白川儀一

・第一三共(株)  
代表取締役社長 | 眞鍋 淳

・ダイキン工業(株)  
取締役社長 | 十河政則

・大成建設(株)  
代表取締役社長 | 相川善郎

・大日コーポレーション(株)  
代表取締役社長兼グループ CEO  
鈴木忠明

・高砂熱学工業(株)  
代表取締役社長 | 小島和人

・(株)タク  
代表取締役 | 福田浩二

・(株)竹中工務店  
取締役執行役員社長 | 佐々木正人

・田中貴金属工業(株)  
代表取締役社長執行役員  
田中浩一朗

・田原 昇

・チャンネル銀河(株)  
代表取締役社長 | 住田和嘉子

・中央日本土地建物グループ(株)  
代表取締役社長 | 平松哲郎

・中外製薬(株)  
代表取締役社長 | 奥田 修

・(株)電通  
代表取締役社長執行役員 | 樽谷典洋

・(株)テンポプロモ  
代表取締役 | 中村聡武

・(株)TOKAI ホールディングス  
代表取締役社長 | 鶴田勝彦

・東海旅客鉄道(株)  
代表取締役社長 | 金子 慎

・東急(株)  
取締役社長 | 高橋和夫

・(株)東急文化村  
代表取締役社長 | 中野哲夫

・東京海上日動火災保険(株)  
取締役社長 | 広瀬伸一

・(株)東京交通会館  
取締役社長 | 興野敦郎

・東信地所(株)  
代表取締役 | 堀川利通

・東武鉄道(株)  
取締役社長 | 根津嘉澄

・桐朋学園大学  
学長 | 辰巳明子

・東邦ホールディングス(株)  
代表取締役 | 有働 敦

・(株)東北新社  
代表取締役社長 | 中島信也

・(-財)凸版印刷三幸会  
代表理事 | 金子眞吾

・トヨタ自動車(株)  
代表取締役社長 | 豊田章男

・内外施設工業グループホールディングス(株)  
取締役会長 | 林 正道

・中銀グループ  
代表 | 渡辺蔵人

・中山武之

・日鉄興和不動産(株)  
代表取締役社長 | 今泉泰彦

・日東紡績(株)  
取締役 代表執行役社長 | 辻 裕一

・日本ガイシ(株)  
取締役社長 | 小林 茂

・(株)日本国際放送  
代表取締役社長 | 高尾 潤

・日本通運(株)  
代表取締役社長 | 齋藤 充

・日本電気(株)  
代表取締役執行役員社長 | 森田隆之

・(-財)日本放送協会共済会  
理事長 | 谷弘聡史

・日本郵政(株)  
取締役兼代表執行役社長 | 増田寛也

・(株)ニフコ  
代表取締役社長 | 柴尾雅春

・(株)日本デジコム  
代表取締役 | 竹井裕二

・野村ホールディングス(株)  
代表執行役社長 | 奥田健太郎

・パナソニック ホールディングス(株)  
代表取締役 社長執行役員 グループ CEO  
楠見雄規

・(有)パルフェ  
代表取締役 | 伊藤良彦

・東日本電信電話(株)  
代表取締役社長 | 井上福造

・(株)日立製作所  
執行役社長 | 小島啓二

・(株)フォトロ  
代表取締役 | 瀧水 隆

・福田三千男

・富士通(株)  
代表取締役社長 | 時田隆仁

・富士通フロンテック(株)  
代表取締役社長 | 川上博矛

・古川建築音響研究所  
所長 | 古川宣一

・(株)朋栄ホールディングス  
代表取締役 | 清原慶三

・(株)放送衛星システム  
代表取締役社長 | 井上樹彦

・(公)放送文化基金  
理事長 | 濱田純一

・ホクト(株)  
代表取締役 | 水野雅義

・前田工織(株)  
代表取締役社長兼COO | 前田尚宏

・町田優子

・丸紅(株)  
代表取締役社長 | 柿木真澄

・溝江建設(株)  
代表取締役社長 | 溝江 弘

・三井住友海上火災保険(株)  
代表取締役 | 船曳真一郎

・(株)三井住友銀行  
頭取 | 高島 誠

・三井住友信託銀行(株)  
取締役社長 | 大山一也

- ・三菱商事(株)  
社長 | 中西勝也
  - ・三菱電機(株)  
執行役社長 | 漆間 啓
  - ・(株)緑山スタジオ・シティ  
代表取締役社長 | 難波一弘
  - ・三橋産業(株)  
代表取締役会長 | 三橋洋之
  - ・三原穂積
  - ・(学)武蔵野音楽学園  
理事長 | 福井直敬
  - ・(株)明治  
代表取締役社長 | 松田克也
  - ・(株)明電舎  
取締役社長 | 三井田 健
  - ・(株)目の眼  
代表 | 櫻井 恵
  - ・(株)モメンタム ジャパン  
代表取締役社長 | 三溝広志
  - ・森ビル(株)  
代表取締役社長 | 辻 慎吾
  - ・森平舞台機構(株)  
代表取締役 | 森 健輔
  - ・矢下茂雄
  - ・山田産業(株)  
代表取締役 | 山田裕幸
  - ・(株)山野楽器  
代表取締役社長 | 山野政彦
  - ・(株)ヤマハミュージックジャパン  
代表取締役社長 | 押木正人
  - ・ユニオンツール(株)  
代表取締役会長 | 片山貴雄
  - ・米澤文彦
  - ・(株)読売広告社  
代表取締役社長 | 菊地英之
  - ・(株)読売旅行  
代表取締役社長 | 坂元 隆
  - ・料亭 三長  
代表 | 高橋千善
  - ・(株)リンレイ  
代表取締役社長 | 鈴木信也
  - ・(有)ルナ・エンタープライズ  
代表取締役 | 戸張誠二
  - ・ローム(株)  
代表取締役社長 社長執行役員  
松本 功
  - ・YK アクロス(株)  
代表取締役社長 | 中野健次
- (五十音順、敬称略)

## NHK交響楽団への ご寄付について

NHK交響楽団は多くの方々の貴重なご寄付に支えられて、積極的な演奏活動を展開しております。定期公演の充実をはじめ、著名な指揮者・演奏家の招聘、意欲あふれる特別演奏会の実現、海外公演の実施など、今後も音楽文化の向上に努めてまいりますので、みなさまのご支援をよろしく願ひ申し上げます。

### 「賛助会員」入会のご案内

NHK交響楽団は賛助会員制度を設け、上記の方々にご支援をいただいております。当団の経営基盤を支える大きな柱となっております。会員制度の内容は次の通りです。

■当団は「公益財団法人」として認定されています。

当団は芸術の普及向上を行うことを主目的とする法人として「公益財団法人」の認定を受けているため、当団に対する寄付金は税制上の優遇措置の対象となります。

1. 会費：一口50万円(年間)
2. 期間：入会は随時、年会費をお支払いいただいたときから1年間
3. 入会の特典：『フィルハーモニー』、『年間パンフレット』、『第9』演奏会プログラム等にご芳名を記載させていただきます。

N響主催公演のご鑑賞の機会を設けます。

### 遺贈のご案内

資産の遺贈(遺言による寄付)を希望される方々のご便宜をお図りするために、NHK交響楽団では信託銀行が提案する「遺言信託制度」をご紹介します(三井住友信託銀行と提携)。相続財産目録の作成から遺産分割手続の実施まで、煩雑な相続手続を信託銀行が有償で代行いたします。まずはN響寄付担当係へご相談ください。

お問い合わせ

公益財団法人 NHK交響楽団「寄付担当係」

TEL：03-5793-8120

# NHK交響楽団

首席指揮者：パーヴォ・ヤルヴィ

名誉音楽監督：シャルル・デュトワ

桂冠名誉指揮者：ヘルベルト・ブロムシュテット

桂冠指揮者：ウラディーミル・アシュケナージ

正指揮者：外山雄三、尾高忠明

第1コンサートマスター：篠崎史紀

コンサートマスター：伊藤亮太郎

ゲスト・コンサートマスター：白井 圭

ゲスト・アシスタント・コンサートマスター：郷古 廉

## 第1ヴァイオリン

青木 調  
宇根京子  
大鹿由希  
□倉富亮太  
後藤 康  
小林玉紀  
高井敏弘  
猶井悠樹  
中村弓子  
降旗貴雄  
○松田拓之  
宮川奈々  
○山岸 努  
○横島礼理  
○横溝耕一

## 第2ヴァイオリン

◎大宮臨太郎  
☆森田昌弘  
木全利行  
齋藤麻衣子  
嶋田慶子  
○白井 篤  
○田中晶子  
坪井きらら  
丹羽洋輔  
平野一彦  
船木陽子  
俣野賢仁  
○三又治彦  
矢津将也  
山田慶一  
横山俊朗

米田有花

村尾隆人

## ヴィオラ

◎佐々木 亮  
◎村上淳一郎  
☆中村翔太郎  
小野 聡  
小島茂隆  
□坂口弦太郎  
谷口真弓  
飛澤浩人  
○中村洋乃理  
松井直之  
三国レイチェル由依  
#御法川雄矢  
○村松 龍  
山田雄司

## チェロ

◎辻本 玲  
◎藤森亮一  
市 寛也  
小島幸法  
三戸正秀  
中 実穂  
○西山健一  
○藤村俊介  
宮坂拓志  
村井 将  
○山内俊輔  
渡邊方子

## コントラバス

◎吉田 秀  
☆市川雅典  
☆西山真二  
稲川永示  
○岡本 潤  
今野 京  
佐川裕昭  
本間達朗  
矢内陽子

## フルート

◎甲斐雅之  
◎神田寛明  
梶川真歩  
菅原 潤  
中村淳二

## オーボエ

◎青山聖樹  
◎吉村結実  
池田昭子  
坪池泉美  
和久井 仁

## クラリネット

◎伊藤 圭  
◎松本健司  
#山根孝司

## ファゴット

◎宇賀神広宣  
◎水谷上総  
佐藤由起  
菅原恵子  
森田 格

## ホルン

◎今井仁志  
石山直城  
勝俣 泰  
木川博史  
野見山和子

## トランペット

◎菊本和昭  
◎長谷川智之  
安藤友樹  
山本英司

## トロンボーン

◎古賀 光  
◎新田幹男  
池上 亘  
黒金寛行  
吉川武典

## チューバ

池田幸広

## ティンパニ

◎植松 透  
◎久保昌一

## 打楽器

石川達也  
黒田英実  
竹島悟史

## ハープ

早川りさこ

## ステージ・マネージャー

徳永匡哉  
黒川大亮

## ライブラリアン

沖 あかね  
木村英代

(五十音順、◎首席、☆首席代行、○次席、□次席代行、#インスペクター)

# みなさまの声をお聞かせください！

## インターネットアンケートにご協力ください

ご鑑賞いただいた公演のご感想や、N響の活動に対するみなさまのご意見を、ぜひお寄せください。  
ご協力をお願いいたします。

### アクセス方法

STEP

1



スマートフォンで右の  
QRコードを読み取る。  
またはURLを入力  
[https://www.nhkso.or.jp/  
enquete.html](https://www.nhkso.or.jp/enquete.html)



STEP

2



開いたリンク先からアンケートサイトに入る

STEP

3



アンケートに答えて(約5分)、  
「送信」を押して完了！

ほかにもご意見・ご感想がありましたらお寄せください。

定期公演会場の主催者受付にお持ちいただくか、

〒108-0074 東京都港区高輪2-16-49 NHK交響楽団 フィルハーモニー編集までお送りください。

ふりがな		年齢	歳
お名前		TEL	

個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいた個人情報は、必要な場合、ご記入者様への連絡のみに使用し、他の目的に使用いたしません。

# NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO

Chief Conductor: Paavo Järvi

Music Director Emeritus: Charles Dutoit

Honorary Conductor Laureate: Herbert Blomstedt

Conductor Laureate: Vladimir Ashkenazy

Permanent Conductors: Yuzo Toyama, Tadaaki Otaka

First Concertmaster: Fuminori Maro Shinozaki

Concertmaster: Ryotaro Ito

Guest Concertmaster: Kei Shirai

Guest Assistant Concertmaster: Sunao Goko

## 1st Violins

- Shirabe Aoki
- Kyoko Une
- Yuki Oshika
- Ryota Kuratomi
- Ko Goto
- Tamaki Kobayashi
- Toshihiro Takai
- Yuki Naoi
- Yumiko Nakamura
- Takao Furihata
- Hiroyuki Matsuda
- Nana Miyagawa
- Tsutomu Yamagishi
- Masamichi Yokoshima
- Koichi Yokomizo

## 2nd Violins

- Rintaro Omiya
- ☆ Masahiro Morita
- Toshiyuki Kimata
- Maiko Saito
- Keiko Shimada
- Atsushi Shirai
- Akiko Tanaka
- Kirara Tsuboi
- Yosuke Niwa
- Kazuhiko Hirano
- Yoko Funaki
- Kenji Matano
- Haruhiko Mimata
- Masaya Yazu
- Yoshikazu Yamada
- Toshiro Yokoyama
- Yuka Yoneda
  
- Ryuto Muraō

## Violas

- Ryo Sasaki
- Junichiro Murakami
- ☆ Shotaro Nakamura
- Satoshi Ono
- Shigetaka Obata
- Gentaro Sakaguchi
- Mayumi Taniguchi
- Hiroto Tobisawa
- Hironori Nakamura
- Naoyuki Matsui
- Rachel Yui Mikuni
- # Yuya Minorikawa
- Ryo Muramatsu
- Yuji Yamada

## Cellos

- Rei Tsujimoto
- Ryoichi Fujimori
- Hiroya Ichi
- Yukinori Kobatake
- Masahide Sannohe
- Miho Naka
- Ken'ichi Nishiyama
- Shunsuke Fujimura
- Hiroshi Miyasaka
- Yuki Murai
- Shunsuke Yamanouchi
- Masako Watanabe

## Contrabasses

- Shu Yoshida
- ☆ Masanori Ichikawa
- ☆ Shinji Nishiyama
- Eiji Inagawa
- Jun Okamoto
- Takashi Konno
- Hiroaki Sagawa
- Tatsuro Honma
- Yoko Yanai

## Flutes

- Masayuki Kai
- Hiroaki Kanda
- Maho Kajikawa
- Jun Sugawara
- Junji Nakamura

## Oboes

- Satoki Aoyama
- Yumi Yoshimura
- Shoko Ikeda
- Izumi Tsuboike
- Hitoshi Wakui

## Clarinets

- Kei Ito
- Kenji Matsumoto
- # Takashi Yamane

## Bassoons

- Hironori Ugajin
- Kazusa Mizutani
- Yuki Sato
- Keiko Sugawara
- Itaru Morita

## Horns

- Hitoshi Imai
- Naoki Ishiyama
- Yasushi Katsumata
- Hiroshi Kigawa
- Kazuko Nomiya

## Trumpets

- Kazuaki Kikumoto
- Tomoyuki Hasegawa
- Tomoki Ando

## Eiji Yamamoto

## Trombones

- Hikaru Koga
- Miko Nitta
- Ko Ikegami
- Hiroyuki Kurogane
- Takenori Yoshikawa

## Tuba

- Yukihiko Ikeda

## Timpani

- Toru Uematsu
- Shoichi Kubo

## Percussion

- Tatsuya Ishikawa
- Hideki Kuroda
- Satoshi Takeshima

## Harp

- Risako Hayakawa

## Stage Manager

- Masaya Tokunaga
- Daisuke Kurokawa

## Librarian

- Akane Oki
- Hideyo Kimura

(○ Principal, ☆ Acting Principal, ○ Vice Principal, □ Acting Vice Principal, # Inspector)

## PROGRAM

Ikebukuro

A

Concert No.1956

## Tokyo Metropolitan Theatre

May

14 (Sat) 6:00pm

15 (Sun) 2:00pm

conductor

Marek Janowski

violin

Alena Baeva

concertmaster

Kei Shirai

## Robert Schumann

## Violin Concerto D Minor [31']

I In kräftigem, nicht zu schnellem Tempo

II Langsam

III Lebhaft, doch nicht schnell

— intermission (20 minutes) —

## Franz Schubert

## Symphony No. 8 C Major D. 944,

*The Great* [55']

I Andante – Allegro ma non troppo

II Andante con moto

III Scherzo: Allegro vivace – Trio

IV Allegro vivace

Under the auspice of: Toshima City

## Artist Profiles

## Marek Janowski, conductor



© Falk Brödel

Polish-born German conductor Marek Janowski has held important positions with orchestras including the Orchestre Philharmonique de Radio France, the Gürzenich-Orchester Köln, the Orchestre de la Suisse Romande and the Rundfunk-Sinfonieorchester Berlin, and now he is Artistic Director of the Dresdner Philharmonie. It was in September 1985, shortly after his well-known *Ring Cycle* which he recorded with the Staatskapelle Dresden from 1980 to 1983, that he first appeared with the NHK Symphony Orchestra, to which he returned every few years until 1998.

He left the operatic works in the 1990s and devoted himself to orchestral repertoire cementing his reputation as a world renowned conductor. Along with Wagner's major works with the Rundfunk-Sinfonieorchester Berlin from 2010 to 2013 and the *Ring Cycle* he conducted at the Bayreuth Festival in 2016 and 2017, the impressive performances of his finely

Ikebukuro

A

14 &amp; 15, MAY, 2022



constructed *Ring Cycle* with the NHK Symphony Orchestra started in 2014 at the Spring Festival in Tokyo were a triumph after his return to operatic works, and these prompted him to his regular appearances with the orchestra which is what we most welcome.

---

## Alena Baeva, violin



© Vladimir Shirekov

Alena Baeva from Osh, Kyrgyzstan, won the International Henryk Wieniawski Violin Competition in 2001, and the 1st prize at the Sendai International Violin Competition in 2007. She has been known for her vast repertoire ranging from standard works such as Tchaikovsky's Violin Concerto to Szymanowski's 1st and 2nd Violin Concertos, Shostakovich's 1st Violin Concerto, as well as works by Karłowicz

and Schumann, which are among her discography. She has also shown her interest in period instruments, which led her to work with the Orchestra of the Eighteenth Century. Her first collaboration with the NHK Symphony Orchestra was under the baton of Paavo Järvi in February 2019 playing Violin Concerto by Richard Strauss. On this appearance we look forward to listening to her performance of Schumann's Violin Concerto, a work which is not often taken up.

[Marek Janowski by Mitsunori Eto, music critic, Alena Baeva by Haruo Yamada, music critic]

---

### Program Notes | Kumiko Nishi

---

#### Robert Schumann (1810–1856)

### Violin Concerto D Minor

The untimely final days of Schumann were hard ones. Having suffered from mental illness for years, he jumped into the wintry Rhine River in February 1854, prior to his two-year confinement in a sanitarium and subsequent passing at age 46. His last original work is the Theme and Variations for piano penned before and after this suicide attempt. Subject to auditory hallucinations, he thought spirits' voices dictated the “theme” to him, without recalling that he had used it for his Violin Concerto previously.

The concerto had remained unprinted and unperformed publicly until it was exhumed from over eight decades of sleep in the late 1930s. Schumann wrote it for his friend and violinist Joseph Joachim in the autumn of 1853. However, Schumann's wife Clara and Joachim chose to conceal it, presumably because they associated it with the composer's declining mind.

The work is organized into the classical fast-slow-fast pattern of movements, although Schumann's writing departs from the standard solo-accompaniment concerto format to approach a “symphony with violin solo” of sorts. The opening movement is in sonata form. Out of the blue, the orchestra gives the dignified first theme in D minor with strong dotted rhythms. The calmer, melodious second theme emerges in F major. The middle movement

is a stirring interlude. Its main melody sung by solo violin would be re-used, as mentioned above, for Schumann's swan song. The rondo-form finale begins without pause after the second movement. The solo violin immediately reveals the expansive recurrent theme above the orchestra's spring rhythms typical of Polonaise (a Polish traditional dance). The concerto culminates in the affirmative, vigorous ending in D major.

**Franz Schubert (1797–1828)**

## **Symphony No. 8 C Major D. 944, *The Great***

Schubert's No. 8 was forgotten, too. Moreover, it was Schumann who saved it from oblivion. The story goes back to 1826 when Schubert dedicated it to the Gesellschaft der Musikfreunde (Musikverein Wien) in return for making him a substitute member of its board of representatives. Receiving some honorarium, he attended the closed play-through of the work. Nevertheless, it had stayed buried until 1839 when Schumann visited the deceased composer's brother in Vienna and dug it up from the relics. The same year, the entire work was first performed publicly by Mendelssohn conducting the Gewandhausorchester Leipzig.

The subtitle of this masterpiece was posthumously given for convenience in distinction from Schubert's shorter symphony in the same key (D. 589), a. k. a. *Little C major*. However, his "*Great*" symphony obviously deserves this nickname in quantity and quality. Schumann famously praised its "heavenly length" comparing it to Jean Paul's great mighty novel.

Many suppose today that *The Great* was written during the summer of 1825. It is replete with ingenious harmonies and flowing melodies, as is usual with Schubert. The first movement has a significant introduction kicking off with a horn unison, just like the outset of Schumann's *Spring* symphony (1841). The energetic crescendo leads to the fast main section in sonata form, which treats the vivacious, dotted first theme (in the principal key) given by strings and the darkish second theme (unconventionally in E minor) by woodwinds. At the end, the opening unison melody resounds as if to come full circle. The next movement has a symmetric structure (A–B–A–B–A). The theme of section A first appears with the melancholic oboe solo, while the restful descending theme of section B is initiated by violins. The third movement, in ternary form (A–B–A), has a graceful trio in waltz time (B) sandwiched by the brisk Scherzo (A). The high-spirited finale in sonata form begins with the fanfare-like first theme in C major, and later comes the melodious second theme in G major. From the start of the development onward, Schubert pays honor to Beethoven's Ninth Symphony (1824) by suggesting the *Ode to Joy*.

**Kumiko Nishi**

English-French-Japanese translator based in the USA. Holds a MA in musicology from the University of Lyon II, France and a BA from the Tokyo University of the Arts (Geidai).

---

**PROGRAM**

---

**B****Concert No.1958****Suntory Hall**

---

**May****25 (Wed) 7:00pm****26 (Thu) 7:00pm**

---

**conductor** Fabio Luisi**piano** Yu Kosuge**concertmaster** Fuminori Maro Shinozaki

---

**Felix Mendelssohn Bartholdy**  
*Calm Sea and Prosperous Voyage,*  
overture Op. 27 [12']

**Maurice Ravel**  
**Piano Concerto G Major** [22']

I Allegramente

II Adagio assai

III Presto

— intermission (20 minutes) —

**Nikolai Rimsky-Korsakov**  
*Scheherazade, symphonic suite*  
Op. 35 [46']

I The Sea and Sinbad's Ship

II The Kalandar Prince

III The Young Prince and The Young Princess

IV Festival at Baghdad – The Sea – The Ship

Breaks Against a Cliff Surmounted by a

Bronze Horseman – Conclusion

---

**Artist Profiles**

---

**Fabio Luisi, conductor**

The news of Fabio Luisi becoming Chief Conductor of the NHK Symphony Orchestra for a three-year term starting September 2022 was announced last April. A new era – the NHK Symphony Orchestra and Maestro Luisi – is about to begin.

Born in Genova, Italy, he started his career as a *répétiteur* (pianist for coaching singers) and a conductor at the opera house in Graz, the second largest city in Austria. Soon he received invitations from the Deutsche Oper Berlin, the Bayerische Staatsoper and the Wiener Staatsoper. Until now he has taken up important posts with the Orchestre de la Suisse Romande, the Wiener Symphoniker, the Staatskapelle Dresden, the Pacific Music Festival (an educational festival in Sapporo), the Metropolitan Opera and

the Oper Zürich, and currently is Chief Conductor of the Danish National Symphony Orchestra and Music Director of the Dallas Symphony Orchestra.

He first conducted the NHK Symphony Orchestra in 2001, and has now become a familiar face at the orchestra's subscription concerts. He exhibited a brilliant performance of Bruckner's 4th Symphony *Romantic* and Tchaikovsky's Symphony No.5 in November last year.

---

## Yu Kosuge, piano



Tokyo-born Yu Kosuge made her first public piano performance at the age of nine, and moved to Europe at the age of ten, studying piano in Hannover and Salzburg. She had her debut recital at Carnegie Hall in 2005, and at the Salzburg Festival in the following year, making her only the second Japanese to have such an honor.

She has been invited by many orchestras at home and abroad, and, till today, worked under renowned conductors including Seiji Ozawa, Roger Norrington, Jonathan Nott, with orchestras such as the hr-Sinfonieorchester, the Radio-Sinfonieorchester Stuttgart des SWR and the Orchestre de la Suisse Romande, and has often played with the NHK Symphony Orchestra.

Her ambitious activities, including her recordings of Complete Piano Sonatas of Beethoven, as well as her recitals with elaborate programs, are highly evaluated.

[Fabio Luisi by Yoshimichi Okuda, music critic, Yu Kosuge by Haruka Kosaka, music journalist]

---

### Program Notes | Kumiko Nishi

---

#### Felix Mendelssohn Bartholdy (1809–1847)

### *Calm Sea and Prosperous Voyage, overture Op. 27*

Gifted but short-lived, Mendelssohn is known as a musician representative of German Romanticism. He had several chances to meet the monumental literary figure Goethe (1749–1832) and left us many songs based on his poems. When Mendelssohn wrote *Calm Sea and Prosperous Voyage* Op. 27, an overture completed in 1828 and revised in 1834, he was inspired by Goethe's two poems *Calm at Sea* and *Prosperous Voyage*. The composer certainly followed in the footsteps of Beethoven who had, fifteen years earlier, created a cantata of the exact same title with these two poems.

Mendelssohn's version without voice traces the seascapes by Goethe as an exemplary programmatic music. The opening Adagio section describes a lulled sea with long notes and slow harmonic progressions. The sailor's uneasy feeling over this deathly silent water emerges. However, the Allegro section is announced by the flute solo bringing relief as a gust of wind. With a large crescendo, the mist clears away and the sea livens up. The land approaches. Then the timpani's tremolo declares the beginning of the exulting coda brightened up by the brass fanfare.

Maurice Ravel (1875–1937)

---

## Piano Concerto G Major

A son of a Swiss father and a Basque mother, Ravel was born in the French Basque Country by the Spanish border before moving to Paris. In 1889, the teenage composer was impressed by Russian works conducted by Rimsky-Korsakov and the gamelan music from Indonesia, both he heard at the Paris Universal Exposition. Ravel's curiosity was still burning in his adulthood, as he was greatly inspired by jazz and spirituals during his first trip to the USA in 1928, though he had been familiar with jazz since before.

The G-Major Concerto was mostly composed in 1929–1931, his later years. Jazzy and bluesy idioms appearing in the outer lively movements remind us of his preceding voyage to the New World. The jovial first movement has an unexpected starting signal by the crack of a whip immediately followed by piccolo playing the first theme. Some say that this theme is in a style of Basque folk music and the calmer second theme given later by piano is Spanish. The tranquil second movement is in a languid, waltz-like time. It is opened with a lone monologue by piano and ended with a high-pitched trill by the same instrument. Compact and dense, the finale begins with a recurrent brass cadence. This movement shows thoroughly the soloist's virtuosity in a mirthful and brilliant way.

Nikolai Rimsky-Korsakov (1844–1908)

---

## Scheherazade, symphonic suite Op. 35

A skillful orchestrator, Rimsky-Korsakov was also a navy officer. He had yearned for the ocean ever since he could remember, receiving influence from his elder brother who was a naval man. Rimsky-Korsakov himself joined the Imperial Navy in his teens while studying music, and the young sailor experienced his first navigation round the world from 1862 to 1865, composing the Symphony No. 1 at sea.

*Scheherazade* (1888) was written after he quit the Navy. The title refers to a wife of the Persian Sultan Shahriar from *The One Thousand and One Nights* (the Arabian Nights). She saves her own life by relating entertaining tales every night to her murderous spouse. The music by Rimsky-Korsakov, in four movements, depicts a series of colorful tone-scapes inspired by several episodes from this ancient collection rather than reproducing stories faithfully. The first movement introduces some important elements of the work: the opening dreadful unison is the theme of Sultan, the following theme of Scheherazade played by violin solo and harp has an oriental air, and we hear the theme of sea (a variant of the theme of Sultan) above continuous, undulant arpeggios by strings. At the climax of the final movement when “The Ship Breaks,” the ex-sailor composer gives one of the most convincing descriptions of stormy sea in the music history.

---

Kumiko Nishi | For a profile of Kumiko Nishi, see p. 47

B

25 & 26, MAY, 2022

PROGRAM

Ikebukuro

C

Concert No.1957

Tokyo Metropolitan Theatre

May  
20(Fri) 7:30pm  
21(Sat) 2:00pm

conductor

Fabio Luisi | for a profile of Fabio Luisi, see p. 48

piano

Alexander Melnikov

concertmaster

Fuminori Maro Shinozaki

[Pre-concert Chamber Music – Exclusive to Ikebukuro Program C]

Friday 20th from 6:45pm / Saturday 21st from 1:15pm

Kei Ito (cl.), Atsushi Shirai (vn.), Akiko Tanaka (vn.), Mayumi Taniguchi (va.), Ken'ichi Nishiyama (vc.)

Mozart / Clarinet Quintet A Major K. 581 – 1st Movement

\* You may enter and leave as you please during the performance. \* Enjoy chamber music from your own seat.

**Wolfgang Amadeus Mozart**  
*Don Giovanni*, opera K. 527 –  
overture [ 7' ]

**Wolfgang Amadeus Mozart**  
**Piano Concerto No. 20 D Minor**  
**K. 466 [ 31' ]**

I Allegro

II Romanze

III Allegro assai

**Ludwig van Beethoven**  
**Symphony No. 8 F Major Op. 93**  
[ 27' ]

I Allegro vivace e con brio

II Allegretto scherzando

III Tempo di menuetto

IV Allegro vivace

- This concert will be performed with no intermission.

Under the auspice of: Toshima City

Artist Profile

Alexander Melnikov, piano



© Julien Mignot

Having a wealth of brilliance, intelligence and expressiveness, highly-talented pianist Alexander Melnikov has won prizes in the Schumann International Competition in 1989 and the Queen Elisabeth International Music Competition in 1991, and has been active in Europe. He has also been inspired by historically-informed performance, and his exploration and experience in this field has led to an in-depth knowledge



of the expression on modern piano performances. He is specially known for, not to mention Russian modern works, but also for his repertoire of German Romantic and Viennese classical periods. He frequently visits Japan, and his recent collaborations with the NHK Symphony Orchestra were in 2008 and 2011. On this visit, he will play Mozart's Concerto No. 20 in D minor, which he performed under Fabio Luisi in Europe. He will surely be presenting us a elaborately considered performance.

[Alexander Melnikov by Takaakira Aosawa, music critic]

---

## Program Notes | Kumiko Nishi

---

### Wolfgang Amadeus Mozart (1756–1791)

---

## *Don Giovanni*, opera K. 527 – overture

Based upon the Don Juan legend of Spanish origin, the opera *The Libertine Punished, or Don Giovanni* (1787) tells a moral story about the fearless womanizer requiring remorse. He kills in a duel, the Commendatore, the father of a lady he tried to seduce, and is dragged to hell by his specter in the end. Significantly, the central key of this opera is D minor just like Mozart's last unfinished work, Requiem (funeral mass). The overture begins with a booming D-minor cadence, before we hear an ominous dotted rhythm repeated by strings foretelling the scene where the dead Commendatore as a stone statue approaches Giovanni. The bright coda was written separately by the composer himself for non-theatrical concert performance.

### Wolfgang Amadeus Mozart

---

## Piano Concerto No. 20 D Minor K. 466

K. 466 is one of the two minor-key works among all twenty seven of Mozart's concertos for piano solo. In 1785 when it was premiered by himself, its somber, anxious, fierce nature and the symphonic orchestral part must have surprised the Viennese audience even though the work was highly welcomed, as concertos were considered sociable and light-hearted as a genre. The year 1785 was the pinnacle of the period when the free-lance Mozart had enjoyed flourishing days artistically but also financially in Vienna.

Written in D minor, the same key as *Don Giovanni*, the first movement has an eerie opening with strings to remain restless both rhythmically and harmonically, in stark contrast to the tranquil but lonely first entry of piano. The title of the second movement in B-flat major, Romanze (Romance), usually stands for a simple sweet piece with lyrical melodies. Following the format of this genre, Mozart's middle section is dark and turbulent. The final movement in D minor abruptly starts with the tempestuous main theme, played by a solo piano, which alternates with some contrasting ideas, before reaching the D-major conclusion. As the standard practice of that time, each of the outer movements has the cadenza toward the end, where the soloist improvises or/and performs a pre-composed passage in an improvisatory way.

## Symphony No. 8 F Major Op. 93

It is widely known that Beethoven always honored Mozart. The younger composer particularly liked Mozart's concerto K. 466, and this admiration for it led him to write the cadenzas for its outer movements. Since then, they have been frequently used by pianists.

Beethoven completed the Symphony No. 8 in 1812. Between the grand Dionysian Seventh and the sublime Ninth with the majestic chorus, the delightful Eighth is the shortest of his all symphonies. While its compact structure, its profuse wits and its reference to the old-fashioned minuet evoke the styles of Haydn and Mozart, No. 8 has a distinctive character of its own with a variety of unexpected and inventive effects, especially in terms of rhythm.

The opening movement gives the first theme in tutti (by the whole orchestra) without any preface. Later, unanticipated one-bar silence comes before the second theme flows from violins accompanied by bassoons. Through the playful second movement, we hear the regular ticking sound reminding us of Haydn's *Clock* symphony. The following movement is a sort of retrospective look at the eighteen-century minuet movement. Here Beethoven cheers up the Classical, elegant minuet with countless sforzandos (sudden strong accents). The speedy finale is marked by the sharp contrast of dynamics and by the vivacious main melody made up of two consecutive triplets and bouncy motifs.



# The Subscription Concerts Program 2021–22

2022  
05

Concert No.	1956		Ordinary	Youth
Ikebukuro A	May 14 (Sat) 6:00pm 15 (Sun) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Schumann Violin Concerto D Minor Schubert Symphony No. 8 C Major D. 944, <i>The Great</i>	\$ 8,900	\$ 5,500
		Marek Janowski, conductor Alena Baeva, violin	A 7,400	A 4,500
			B 5,800	B 3,500
B	May 25 (Wed) 7:00pm 26 (Thu) 7:00pm Suntory Hall	Mendelssohn <i>Calm Sea and Prosperous Voyage</i> , overture Op. 27 Ravel Piano Concerto G Major Rimsky-Korsakov <i>Scheherazade</i> , symphonic suite Op. 35	\$ 9,800	\$ 5,800
		Fabio Luisi, conductor Yu Kosuge, piano	A 8,400	A 4,800
			B 6,700	B 3,800
Ikebukuro C	May 20 (Fri) 7:30pm 21 (Sat) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Mozart <i>Don Giovanni</i> , opera K. 527 – overture Mozart Piano Concerto No. 20 D Minor K. 466 Beethoven Symphony No. 8 F Major Op. 93	\$ 7,400	\$ 4,500
		Fabio Luisi, conductor Alexander Melnikov, piano	A 6,500	A 4,000
			B 5,200	B 3,000
			C 4,200	C 2,000
			D 3,200	D 1,400

2022  
06

Concert No.	1959		Ordinary	Youth
Ikebukuro A	June 11 (Sat) 6:00pm 12 (Sun) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Dukas <i>La Péri</i> , a danced poem (With its appended Fanfare) Ravel <i>Schééhérazade</i> * Debussy <i>Prélude à l'après-midi d'un faune</i> (Prelude to the Afternoon of a Faun) Florent Schmitt <i>La tragédie de Salomé</i> , ballet suite Op. 50	\$ 8,900	\$ 5,500
		Stéphane Denève, conductor Stéphanie d'Oustrac, mezzo soprano*	A 7,400	A 4,500
			B 5,800	B 3,500
B	June 22 (Wed) 7:00pm 23 (Thu) 7:00pm Suntory Hall	Bach / Suzuki Passacaglia and Fugue C Minor BWV582 Britten Violin Concerto Op. 15 Mozart Symphony No. 41 C Major K. 551, <i>Jupiter</i>	\$ 8,900	\$ 5,500
		Masato Suzuki, conductor Sunao Goko, violin	A 7,400	A 4,500
			B 5,800	B 3,500
Ikebukuro C	June 17 (Fri) 7:30pm 18 (Sat) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Poulenc <i>Les biches</i> , ballet suite Poulenc Organ Concerto G Minor Gershwin <i>An American in Paris</i>	\$ 7,400	\$ 4,500
		Stéphane Denève, conductor Olivier Latry, organ	A 6,500	A 4,000
			B 5,200	B 3,000
			C 4,200	C 2,000
			D 3,200	D 1,400

(consumption tax included)

All performers and programs are subject to change or cancellation depending on the circumstances.

# The Subscription Concerts Program 2022–23

2022  
09

<b>A</b>	Concert No. <b>1962</b>	<b>Chief Conductor Fabio Luisi Inauguration Concert</b> <b>Verdi</b> <i>Messa da requiem</i>	Ordinary	Youth
	<b>September 10</b> (Sat) 6:00pm <b>11</b> (Sun) 2:00pm	Fabio Luisi, conductor Hibla Gerzmava, soprano Olesya Petrova, mezzo soprano René Barbera, tenor Kwangchul Youn, bass New National Theatre Chorus, chorus	S 12,000 A 10,000 B 8,000 C 6,500 D 5,000 E 3,300	S 6,000 A 5,000 B 4,000 C 3,200 D 2,500 E 1,600
<b>B</b>	Concert No. <b>1964</b>	<b>Chief Conductor Fabio Luisi Inauguration Concert</b> <b>Beethoven</b> Violin Concerto D Major Op. 61 <b>Brahms</b> Symphony No. 2 D Major Op. 73	Ordinary	Youth
	<b>September 21</b> (Wed) 7:00pm <b>22</b> (Thu) 7:00pm	Fabio Luisi, conductor James Ehnes, violin	S 9,800 A 8,400 B 6,700 C 5,400 D 4,400	S 4,500 A 4,000 B 3,300 C 2,500 D 1,800
<b>C</b>	Concert No. <b>1963</b>	<b>Chief Conductor Fabio Luisi Inauguration Concert</b> <b>R. Strauss</b> <i>Don Juan</i> , symphonic poem Op. 20 <b>R. Strauss</b> Oboe Concerto D Major <b>R. Strauss</b> Suite from the Opera <i>Der Rosenkavalier</i>	Ordinary	Youth
	<b>September 16</b> (Fri) 7:30pm <b>17</b> (Sat) 2:00pm	Fabio Luisi, conductor Eva Steinaa, oboe	S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200 E 1,600	S 3,500 A 3,000 B 2,400 C 1,900 D 1,400 E 800

2022  
10

<b>A</b>	Concert No. <b>1965</b>	<b>Mahler</b> Symphony No. 9 D Major	Ordinary	Youth
	<b>October 15</b> (Sat) 6:00pm <b>16</b> (Sun) 2:00pm	Herbert Blomstedt, conductor	S 9,800 A 8,400 B 6,700 C 5,400 D 4,400 E 2,800	S 4,500 A 4,000 B 3,300 C 2,500 D 1,800 E 1,400
<b>B</b>	Concert No. <b>1967</b>	<b>Grieg</b> Piano Concerto A Minor Op.16 <b>Nielsen</b> Symphony No. 3 Op. 27, <i>Sinfonia espansiva</i>	Ordinary	Youth
	<b>October 26</b> (Wed) 7:00pm <b>27</b> (Thu) 7:00pm	Herbert Blomstedt, conductor Olli Mustonen, piano	S 9,800 A 8,400 B 6,700 C 5,400 D 4,400	S 4,500 A 4,000 B 3,300 C 2,500 D 1,800
<b>C</b>	Concert No. <b>1966</b>	<b>Schubert</b> Symphony No. 1 D Major D. 82 <b>Schubert</b> Symphony No. 6 C Major D. 589	Ordinary	Youth
	<b>October 21</b> (Fri) 7:30pm <b>22</b> (Sat) 2:00pm	Herbert Blomstedt, conductor	S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200 E 1,600	S 3,500 A 3,000 B 2,400 C 1,900 D 1,400 E 800

2022  
11

<b>A</b>	Concert No. <b>1968</b>	<b>Ifukube</b> <i>Sinfonia Tapkaara</i> <b>Shostakovich</b> Symphony No. 10 E Minor Op. 93	Ordinary	Youth
	<b>November 12</b> (Sat) 6:00pm <b>13</b> (Sun) 2:00pm	Michiyoshi Inoue, conductor	S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700 E 2,000	S 4,000 A 3,500 B 2,800 C 2,100 D 1,500 E 1,000
<b>B</b>	Concert No. <b>1970</b>	<b>The 150th Anniversary of Vaughan Williams's Birth</b> <b>Vaughan Williams</b> Five Variants of <i>Dives and Lazarus</i> <b>Mendelssohn</b> Violin Concerto E Minor Op. 64 <b>Vaughan Williams</b> Symphony No. 5 D Major	Ordinary	Youth
	<b>November 23</b> (Wed) 7:00pm <b>24</b> (Thu) 7:00pm	Leonard Slatkin, conductor Ray Chen, violin	S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700	S 4,000 A 3,500 B 2,800 C 2,100 D 1,500
<b>C</b>	Concert No. <b>1969</b>	<b>Copland</b> <i>Appalachian Spring</i> , ballet (complete) <b>Copland</b> <i>Rodeo</i> , ballet (complete)	Ordinary	Youth
	<b>November 18</b> (Fri) 7:30pm <b>19</b> (Sat) 2:00pm	Leonard Slatkin, conductor	S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200 E 1,600	S 3,500 A 3,000 B 2,400 C 1,900 D 1,400 E 800

**A** **NHK Hall**  
Sat. 6:00pm (doors open at 5:00pm)  
Sun. 2:00pm (doors open at 1:00pm)

**B** **Suntory Hall**  
Wed. 7:00pm (doors open at 6:20pm)  
Thu. 7:00pm (doors open at 6:20pm)

**C** **NHK Hall**  
Fri. 7:30pm (doors open at 6:30pm)  
Sat. 2:00pm (doors open at 1:00pm)

2022  
12

**A** Concert No. **1971**  
**December**  
3 (Sat) 6:00pm  
4 (Sun) 2:00pm

NHK Hall

**Wagner** *Wesendonck Lieder*  
**Bruckner** Symphony No. 2 C Minor (First Version / 1872)

Fabio Luisi, conductor  
Mihoko Fujimura, mezzo soprano

Ordinary	Youth
S 9,800	S 4,500
A 8,400	A 4,000
B 6,700	B 3,300
C 5,400	C 2,500
D 4,400	D 1,800
E 2,800	E 1,400

**B** Concert No. **1973**  
**December**  
14 (Wed) 7:00pm  
15 (Thu) 7:00pm

Suntory Hall

**Glinka** *Ruslan and Lyudmila*, opera – Overture  
**Rakhmaninov** Piano Concerto No. 2 C Minor Op. 18  
**Dvořák** Symphony No. 9 E Minor Op. 95, *From the New World*

Fabio Luisi, conductor  
Hisako Kawamura, piano

Ordinary	Youth
S 9,800	S 4,500
A 8,400	A 4,000
B 6,700	B 3,300
C 5,400	C 2,500
D 4,400	D 1,800

**C** Concert No. **1972**  
**December**  
9 (Fri) 7:30pm  
10 (Sat) 2:00pm

NHK Hall

**Mozart** Symphony No. 36 C Major K. 425, *Linz*  
**Mendelssohn** Symphony No. 3 A Minor Op. 56, *Scottish*

Fabio Luisi, conductor

Ordinary	Youth
S 7,400	S 3,500
A 6,500	A 3,000
B 5,200	B 2,400
C 4,200	C 1,900
D 3,200	D 1,400
E 1,600	E 800

2023  
01

**A** Concert No. **1974**  
**January**  
14 (Sat) 6:00pm  
15 (Sun) 2:00pm

NHK Hall

**Brahms** Piano Concerto No. 2 B-flat Major Op. 83  
**Beethoven** Symphony No. 4 B-flat Major Op. 60

Tugan Sokhiev, conductor  
Haochen Zhang, piano

Ordinary	Youth
S 8,900	S 4,000
A 7,400	A 3,500
B 5,800	B 2,800
C 4,700	C 2,100
D 3,700	D 1,500
E 2,000	E 1,000

**B** Concert No. **1976**  
**January**  
25 (Wed) 7:00pm  
26 (Thu) 7:00pm

Suntory Hall

**Bartók** Viola Concerto  
**Ravel** *Daphnis et Chloé*, suite Nos. 1 & 2  
**Debussy** *La mer*, three symphonic sketches

Tugan Sokhiev, conductor  
Amihai Grosz, viola

Ordinary	Youth
S 8,900	S 4,000
A 7,400	A 3,500
B 5,800	B 2,800
C 4,700	C 2,100
D 3,700	D 1,500

**C** Concert No. **1975**  
**January**  
20 (Fri) 7:30pm  
21 (Sat) 2:00pm

NHK Hall

**Rakhmaninov** *The Rock*, fantasy, Op. 7  
**Tchaikovsky** Symphony No. 1 G Minor Op. 13, *Winter Dreams*

Tugan Sokhiev, conductor

Ordinary	Youth
S 7,400	S 3,500
A 6,500	A 3,000
B 5,200	B 2,400
C 4,200	C 1,900
D 3,200	D 1,400
E 1,600	E 800

2023  
02

**A** Concert No. **1977**  
**February**  
4 (Sat) 6:00pm  
5 (Sun) 2:00pm

NHK Hall

**Hisatada Otaka** Cello Concerto A Minor Op. 20  
**Panufnik** *Katyń Epitaph*  
**Lutosławski** Concerto for Orchestra

Tadaaki Otaka, conductor  
Dai Miyata, cello

Ordinary	Youth
S 8,900	S 4,000
A 7,400	A 3,500
B 5,800	B 2,800
C 4,700	C 2,100
D 3,700	D 1,500
E 2,000	E 1,000

**B** Concert No. **1979**  
**February**  
15 (Wed) 7:00pm  
16 (Thu) 7:00pm

Suntory Hall

**Dvořák** *Hussite Overture*, Op. 67  
**Szymanowski** Symphony No. 4 Op. 60, *Symphonie concertante*\*  
**Brahms** Symphony No. 4 E Minor Op. 98

Jakub Hruša, conductor  
Piotr Anderszewski, piano\*

Ordinary	Youth
S 8,900	S 4,000
A 7,400	A 3,500
B 5,800	B 2,800
C 4,700	C 2,100
D 3,700	D 1,500

**C** Concert No. **1978**  
**February**  
10 (Fri) 7:30pm  
11 (Sat) 2:00pm

NHK Hall

**Bernstein** Symphonic Dances from *West Side Story*  
**Rakhmaninov** Symphonic Dances Op. 45

Jakub Hruša, conductor

Ordinary	Youth
S 7,400	S 3,500
A 6,500	A 3,000
B 5,200	B 2,400
C 4,200	C 1,900
D 3,200	D 1,400
E 1,600	E 800

2023  
04

A	Concert No. <b>1980</b>	<b>R. Strauss</b> Symphonic Fragments from <i>Josephs Legende</i> <b>R. Strauss</b> <i>An Alpine Symphony</i> Op. 64	Ordinary Youth
	<b>April</b> 15 (Sat) 6:00pm 16 (Sun) 2:00pm		S 9,800 S 4,500 A 8,400 A 4,000 B 6,700 B 3,300 C 5,400 C 2,500 D 4,400 D 1,800 E 2,800 E 1,400
	NHK Hall	Paavo Järvi, conductor	
B	Concert No. <b>1982</b>	<b>Sibelius</b> Symphony No. 4 A Minor Op. 63 <b>Rakhmaninov</b> Rhapsody on a Theme of Paganini Op. 43* <b>Tchaikovsky</b> <i>Francesca da Rimini</i> , Symphonic fantasy after Dante, Op. 32	Ordinary Youth
	<b>April</b> 26 (Wed) 7:00pm 27 (Thu) 7:00pm		S 9,800 S 4,500 A 8,400 A 4,000 B 6,700 B 3,300 C 5,400 C 2,500 D 4,400 D 1,800
	Suntory Hall	Paavo Järvi, conductor Marie-Ange Nguci, piano*	
C	Concert No. <b>1981</b>	<b>Roussel</b> Sinfonietta for String Orchestra Op. 52 <b>Poulenc</b> Sinfonietta <b>Ibert</b> Divertissement for Chamber Orchestra	Ordinary Youth
	<b>April</b> 21 (Fri) 7:30pm 22 (Sat) 2:00pm		S 7,400 S 3,500 A 6,500 A 3,000 B 5,200 B 2,400 C 4,200 C 1,900 D 3,200 D 1,400 E 1,600 E 800
	NHK Hall	Paavo Järvi, conductor	

2023  
05

A	Concert No. <b>1983</b>	<b>Rakhmaninov</b> Songs Op. 34 – <i>The Raising of Lazarus</i> (arr. Shimono), <i>Vocalise</i> <b>Gubaidulina</b> <i>Offertorium</i> * <b>Dvořák</b> Symphony No. 7 D Minor Op. 70	Ordinary Youth
	<b>May</b> 13 (Sat) 6:00pm 14 (Sun) 2:00pm		S 8,900 S 4,000 A 7,400 A 3,500 B 5,800 B 2,800 C 4,700 C 2,100 D 3,700 D 1,500 E 2,000 E 1,000
	NHK Hall	Tatsuya Shimono, conductor Baiba Skride, violin*	
B	Concert No. <b>1985</b>	<b>Haydn</b> Symphony No. 82 C Major Hob. I-82, <i>The Bear</i> <b>Mozart</b> Horn Concerto No. 3 E-flat Major K. 447 <b>Beethoven</b> Symphony No. 6 F Major Op. 68, <i>Pastoral</i>	Ordinary Youth
	<b>May</b> 24 (Wed) 7:00pm 25 (Thu) 7:00pm		S 9,800 S 4,500 A 8,400 A 4,000 B 6,700 B 3,300 C 5,400 C 2,500 D 4,400 D 1,800
	Suntory Hall	Fabio Luisi, conductor Nobuaki Fukukawa, horn	
C	Concert No. <b>1984</b>	<b>Saint-Saëns</b> Piano Concerto No. 5 F Major Op. 103, <i>The Egyptian</i> <b>Franck</b> Symphony D Minor	Ordinary Youth
	<b>May</b> 19 (Fri) 7:30pm 20 (Sat) 2:00pm		S 7,400 S 3,500 A 6,500 A 3,000 B 5,200 B 2,400 C 4,200 C 1,900 D 3,200 D 1,400 E 1,600 E 800
	NHK Hall	Fabio Luisi, conductor Pascal Rogé, piano	

2023  
06

A	Concert No. <b>1986</b>	<b>Prokofiev</b> <i>The Love for Three Oranges</i> Op. 33bis, symphonic suite <b>Prokofiev</b> Piano Concerto No. 2 G Minor Op. 16 <b>Casella</b> Symphonic Fragments from <i>La donna serpente</i> [Japan Première]	Ordinary Youth
	<b>June</b> 10 (Sat) 6:00pm 11 (Sun) 2:00pm		S 8,900 S 4,000 A 7,400 A 3,500 B 5,800 B 2,800 C 4,700 C 2,100 D 3,700 D 1,500 E 2,000 E 1,000
	NHK Hall	Gianandrea Noseda, conductor Alexander Toradze, piano	
B	Concert No. <b>1988</b>	<b>Bach / Respighi</b> <i>Three Chorales</i> <b>Respighi</b> <i>Concerto gregoriano</i> * <b>Rakhmaninov</b> Symphony No. 1 D Minor Op. 13	Ordinary Youth
	<b>June</b> 21 (Wed) 7:00pm 22 (Thu) 7:00pm		S 8,900 S 4,000 A 7,400 A 3,500 B 5,800 B 2,800 C 4,700 C 2,100 D 3,700 D 1,500
	Suntory Hall	Gianandrea Noseda, conductor Sayaka Shoji, violin*	
C	Concert No. <b>1987</b>	<b>Shostakovich</b> Symphony No. 8 C Minor Op. 65	Ordinary Youth
	<b>June</b> 16 (Fri) 7:30pm 17 (Sat) 2:00pm		S 7,400 S 3,500 A 6,500 A 3,000 B 5,200 B 2,400 C 4,200 C 1,900 D 3,200 D 1,400 E 1,600 E 800
	NHK Hall	Gianandrea Noseda, conductor	

(consumption tax included)

All performers and programs are subject to change or cancellation depending on the circumstances.

# ともに創る未来へ。- Challenge SEITOKU -

かけがえない学生時代、思いきり成長したい。

培った力を、誰かの幸せのために社会で役立てたい。

その意欲を、変化が加速する新時代に活躍する力へ。

自由で、多様で、限りない、学びの世界で学問しよう。

自分史上最高をも、超える挑戦を。

「新しい価値を創造する」学際的なプログラム

## Field Linkage (フィールドリンケージ)

学部・学科を超えた学際的な学びや、社会との連携によるプログラムが始動。  
多面的・多角的な視点や問題解決能力を養い、新たな価値を創造する力を  
育みます。

新時代に活きるリーダーシップを備え、新しい価値を創造し提案できる女性へ

## Business Field Linkage (ビジネスフィールドリンケージ)

高度な専門性を実社会で活かすために、ビジネスの最前線やDX・AIの活用を  
実践的に学ぶプログラムが本格始動。

先見的な視点とスキル、協働的リーダーシップを発揮し、課題解決へと導く、  
新時代の女性リーダーを育成します。

新しい時代に挑戦する「教育学部」がスタート！

## 新時代を生きる人を育てる 女性総合大学

実就職率  
全国女子大学

1位

の教育力

(96.3% 2021年卒業生)  
※卒業生500人以上の女子大実就職率  
2021年大学通信調べ



SEITOKU

自立するチカラをはぐくむ女性総合大学。

# 聖徳大学

# 聖徳大学短期大学部

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 TEL.047-365-1111(大代表)  
<https://www.seitoku-u.ac.jp/>

聖徳大学  
音楽学部(女子)

聖徳大学大学院  
音楽文化研究科  
【博士前期・後期課程】(共学)

聖徳大学大学院 聖徳大学教職大学院 聖徳大学 聖徳大学短期大学部 聖徳大学幼児教育専門学校  
光英 VERITAS 高等学校 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校 光英 VERITAS 中学校  
聖徳大学附属取手聖徳女子中学校 聖徳大学附属小学校 聖徳大学三田幼稚園 聖徳大学八王子幼稚園  
聖徳大学多摩幼稚園 聖徳大学附属幼稚園 聖徳大学附属第二幼稚園 聖徳大学附属成田幼稚園  
聖徳大学附属浦安幼稚園 聖徳大学オープン・アカデミー (SOA)

# ME NO ME SINCE 1977 目の眼



古美術・骨董月刊誌「目の眼」

最新号 WEB 無料公開中



5月号 蒔絵の情景  
漆と金のやまと心

6月号特集  
酒器をたずねて  
時代と人を映す盃

毎月15日発売 1,320円(税込)

家紋螺細蒔絵茶箱 江戸初期

5月号特集より photo: 大屋孝雄

# テレビの音はもっと良くなる

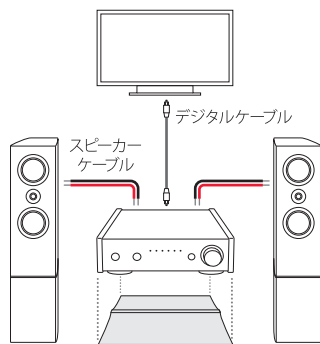


スピーカー：TANNOY Platinum F6

テレビも音楽配信も、もっと良い音で楽しみたい。  
AI-301DA-Zをお好みのスピーカーと組み合わせるだけで  
リビングの音楽ライフは今までと全く違うものに。  
さあ、この小さなアンプから始めてみませんか。

## 便利な機能

- テレビとデジタル接続すればテレビに連動して自動オン/オフ
- 赤外線リモコン学習機能で、テレビのリモコンで音量調整可能
- Bluetooth® (SBC、AAC、aptX™) 対応で、スマホの音楽もいい音
- PCとUSBでつないで、ロスレスやHDオーディオを高音質再生
- 2系統の外部入力端子で手持ちのオーディオ機器も接続可能



今読んでいる「フィルハーモニー」と  
ほぼ同じ、たった215mm幅



AI-301DA-Z  
オープンプライス



製品の詳細はこちらのQRコードから、または [teac.jp/jp](http://teac.jp/jp)

# TEAC

TEACは1953年創業の日本のオーディオブランドです。

# パーヴォ・ヤルヴィ | N響の名盤



好評発売中 **HYBRID** ハイブリッド・ディスク(ステレオ/R.シュトラウスの3タイトルのみ5.1マルチチャンネルも収録)



## R.シュトラウス: 交響詩チクルス

1 英雄の生涯 & ドン・ファン  
SICC 19003 ¥3,300(税込)



2 ドン・キホーテ、ティル・  
オイレンシュピーゲル &  
ばらの騎士  
SICC 19020 ¥3,300(税込)



3 ツアラトストラは  
かく語りき  
メタモルフォーゼン  
SICC 10219 ¥3,300(税込)



ムソルグスキー  
展覧会の絵&げげ山の一夜  
SICC 19026 ¥3,300(税込)



マーラー  
交響曲第6番「悲劇的」  
SICC 19040 ¥3,520(税込)



ワーグナー  
楽劇「ニーベルングの指環」  
管弦楽曲集  
SICC 19043 ¥3,520(税込)

## パーヴォ・ヤルヴィ N響 | 20世紀傑作選



1 バルトーク  
弦楽のための  
ティヴェルティメント・  
舞踏組曲・弦楽器・打楽器・  
チェレスタのための音楽  
SICC 19042 ¥3,520(税込)



2 武満徹  
管弦楽曲集  
SICC 19045 ¥3,520(税込)



3 ストラヴィンスキー  
3楽章の交響曲・カルタ遊び・  
ミューズの神を率いるアポロ  
SICC 19049 ¥3,520(税込)



ストラヴィンスキー没後50年メモリアル・リリース  
4 ストラヴィンスキー  
春の祭典  
SICC 19055 ¥3,520(税込)

近日発売  
予定

第2次大戦後の不毛の中で  
高らかに愛を歌い上げたメシアン  
の最高傑作。  
5 メシアン  
トゥーランガリラ交響曲  
SICC 19059 ¥3,630(税込)

## NHK交響楽団 新首席指揮者

# ファビオ・ルイーダ | シュターツカペレ・ドレスデンの芸術



NHK交響楽団の首席指揮者に就任した指揮者ファビオ・ルイーダが2000年代、ザクセン州立歌劇場およびシュターツカペレ・ドレスデンの監督・指揮者をつとめていた時代にソニークラシカルに録音したりヒヤルト・シュトラウスとブルックナー。いぶし銀の味わい&パッションが同居した名演です。



R.シュトラウス  
英雄の生涯 / メタモルフォーゼン  
ハイブリッド・ディスク(ステレオ&マルチチャンネル)  
**HYBRID** SICC 10049 ¥3,080(税込)



R.シュトラウス  
アルプス交響曲、4つの最後の歌  
ハイブリッド・ディスク(ステレオ&マルチチャンネル)  
**HYBRID** SICC 10079 ¥3,080(税込)



R.シュトラウス  
イタリヤより、ドン・ファン、ドン・キホーテ  
ハイブリッド・ディスク(ステレオ&マルチチャンネル)  
**HYBRID** SICC 10080-1 ¥4,620(税込)



ブルックナー  
交響曲第9番・3短調  
ハイブリッド・ディスク(ステレオ&マルチチャンネル)  
**HYBRID** SICC 10077 ¥3,080(税込)



## 小菅優のために書かれた藤倉大「インパルス」の超絶技巧、 ラヴェル最晩年のかげやきを刻んだ「ト長調の協奏曲」の酒脱

# 小菅優 | 藤倉大:ピアノ協奏曲第3番「インパルス」/ WHIM ラヴェル:ピアノ協奏曲ト長調

ソニー・ミュージックからはひさびさのソロ・リリースとなる協奏曲アルバム。藤倉大のピアノ協奏曲第3番「インパルス」は、モンテカルロ・フィル、読売日本交響楽団とスイス・ロマンツ管弦楽団の共同委嘱作品で、小菅優に献呈。3つのオーケストラの初演全てにおいてソロを務め、大きな話題となったもの。[WHIM]は、カデンツァ(パート分け)をソロ・ピアノ作品として独立出版した小品。カップリングとなるラヴェルの各作「ピアノ協奏曲ト長調」とともにバックを務めるのはイギリスの俊英ライアン・ウィグルスワース指揮する名門BBC交響楽団。2021年に行われた最新セッション録音。

小菅 優(ピアノ) / ライアン・ウィグルスワース(指揮) / BBC交響楽団 録音:2021年10月 ロンドン(セッション録音)

**HYBRID** SICC 10016 ¥3,300(税込) ©ハイブリッド・ディスク STEREO / Multi-5,0ch

5.25  
ON SALE



# 響



**荒井里桜**  
〈ヴァイオリン〉

©Shigeto Imura



**秋山和慶**  
〈指揮〉

ベストクラシックス  
巨匠と若き才能が織りなす  
クラシックスの名曲

**NHK交響楽団**  
〈管弦楽〉



グループ: ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調 Op.26 プラームス: 交響曲第1番ハ短調 Op.68

2022年 **6月4日** [土] **16:00**開演 (15:15開場)

**かつしかシンフォニーヒルズ モーツァルトホール**

〔全席指定〕S席 ¥7,000 A席 ¥6,500 B席 ~~¥5,000~~

チケット予約お問い合わせ **かつしかシンフォニーヒルズ** ☎03-5670-2233 <https://www.k-mil.gr.jp>  
〒124-0012 東京都葛飾区立石6-33-1 ※京成線青砥駅下車徒歩5分  
※税込・未就学児入場不可 ※モーツァルトホール バルコニー席はステージが見づらい場合や聞きづらい場合があります  
※内容は都合により変更になる場合があります ※本公演は催物開催制限に基づき、感染拡大防止策を講じた上で実施いたします

**チケット好評販売中**

シベリウス

交響詩「フィンランディア」作品26  
Sibelius / Finlandia, tone poem Op. 26

明電舎

presents

Jean  
Sibelius



響

名曲コンサート2022

ブラームス

交響曲 第4番 小短調 作品98  
Brahms / Symphony No.4 E Minor Op.98

指揮

沼尻竜典

Ryusuke Numajiri, conductor

ヴァイオリン

金川真弓\*

Mayumi Kanagawa, violin\*

Johannes  
Brahms



ブルッフ

スコットランド幻想曲 作品46\*  
Bruch / Scottish Fantasy Op.46\*

Max  
Bruch

2022年9月5日[月] 7:00pm | サントリーホール

■ 発売開始: 5月19日[木] 11:00 am

■ N響定期会員先行発売: 5月17日[火] 11:00 am

■ 料金 (税込)

一般	ユースチケット(25歳以下)
SS ¥8,500	SS ¥6,000
S ¥6,500	S ¥5,000
A ¥5,000	A ¥3,500
B ¥3,500	B ¥2,500
C ¥2,500	C ¥1,500

※定期会員は一般料金から10%割引

■ 前売所

- WEBチケットN響: <https://ticket.nhks.or.jp> (手数料無料)
- N響ガイド: 03-5793-8161
- サントリーホール チケットセンター: 0570-55-0017  
[suntory.jp/HALL/](https://suntory.jp/HALL/)
- チケットぴあ: [pia.jp/t/nhks/](https://pia.jp/t/nhks/)
- e+(イープラス): [eplus.jp/nhks/](https://eplus.jp/nhks/)
- ローソンチケット: [l-tike.com/nhks/](https://l-tike.com/nhks/)

[お問い合わせ]

N響ガイド 03-5793-8161

(営業日・営業時間はN響ホームページをご覧ください)

※定期会員割引・先行発売は、WEBチケットN響、N響ガイドのみの取り扱いとなります。 ※ユースチケットはN響ガイドに電話でお申し込みください。 感染症予防対策のため、事前に年齢確認のための登録手続きが必要となります(N響ホームページをご覧ください)。 ※車いす席についてはN響ガイドにお問い合わせください。 ※N響ガイドでのお申し込みは、公演日の1営業日前までとなります。 ※チケットご購入、ご来場の際は、N響ホームページに掲載の「感染症予防対策についてのご案内」(右記QRコードのリンク先)を必ずお読みください。 ※やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。公演中止の場合のぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません。 ※未就学児のご入場はお断りしています。



特別協賛:



株式会社 明電舎

主催: NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO



夏だ！ 祭りだ！！

# N響ほっと コンサート

NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO

みんなNHKホールにあつまろう



2022年7月31日(日) 3:30pm  
(開場 2:30pm)

NHKホール(東京・渋谷)

## チケット発売中

一般：S¥5,200 A¥4,200 B¥3,000 C¥1,500  
25歳以下：S¥4,000 A¥3,000 B¥2,000 C¥1,000  
小・中学生：S¥2,000 A¥1,500 B¥1,000 C¥500(税込)

(定期会員は、S・A・B各席の一般料金から10%割引)

- ※25歳以下(ユースチケット)はN響ガイドにお電話でお申し込みください。
- ※感染予防対策のため、事前に年齢確認のための登録手続きが必要になります(N響ホームページをご覧ください)。
- ※定期会員割引・先行販売はWEBチケットN響・N響ガイドのみの取り扱いとなります。
- ※車いす席についてはN響ガイドにお問い合わせください。
- ※N響ガイドでの申し込みは、公演日の1営業日前までとなります。
- ※「小・中学生」のチケットはすべての前売所でご購入いただけます。
- ※小学生は、保護者の方と一緒にお越しください。
- ※未就学児のご入場はお断りしています。
- ※今回のN響ほっとコンサートで「楽器体験工房」はございません。

◎WEBチケットN響 <https://ticket.nhkso.or.jp> (手数料無料)

◎N響ガイド 03-5793-8161

◎チケットぴあ [pia.jp/t/nhkso](http://pia.jp/t/nhkso)

◎e+ (イープラス) [eplus.jp/nhkso](http://eplus.jp/nhkso)

◎ローンチケット [l-tike.com/nhkso](http://l-tike.com/nhkso)

※2時間前程度の公演となります(休憩20分あり)

※やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。公演中止の場合をのぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません。

※チケットのご購入・ご来場の際には、N響ホームページに掲載の「感染症予防対策についてのご案内」(下記URLおよび右記リンク先)を必ずお読みください。

[www.nhkso.or.jp/news/20200710\\_2.html](http://www.nhkso.or.jp/news/20200710_2.html)



N響ガイド 03-5793-8161 (営業日・営業時間はN響ホームページでご確認ください)

ワグナー：

歌劇「ローエングリン」—第3幕への前奏曲

林光：

オーケストラのための童話「セロ弾きのゴーシュ」

チェロ独奏：辻本 玲 (N響首席チェロ奏者) 語り・うた：三宅理恵 (宮沢賢治 原作)

ジュニア・ソリスト 募集

マロさん、N響といっしょに演奏しよう /

バッハ：2つのヴァイオリンのための協奏曲

—ニ短調—第1楽章

ヴァイオリン独奏：ジュニア・ソリスト & 篠崎史紀 (N響第1コンサートマスター、通称マロさん)

ラヴェル：ボレロ



Shingo Yamaguchi

指揮：

下野竜也



ヴァイオリン独奏：

篠崎史紀

(通称マロさん)



チェロ独奏：

辻本 玲



語り・うた：

三宅理恵

ジュニア・ソリスト募集

マロさん、N響といっしょに演奏するジュニア・ソリストを募集  
ジュニア・ソリストはオーディションで決定します。

詳しくはN響ホームページ、  
公式Twitterをチェック!!

主催：NHK/NHK交響楽団

「N響ほっとコンサート」  
公式Twitterアカウント オープン!

「N響ほっとコンサート」の情報を発信します

N響・出演者や曲目などの詳細をお知らせします



# N響 「夏」

## 2022 東京公演

NHK Symphony Orchestra, Tokyo  
Summer Concert 2022

主催：NHK / NHK交響楽団 協賛：岩谷産業株式会社

ふたりの作曲家が  
再起をかけて生み出した  
至高の名曲

指揮

尾高 忠明

Tadaaki Otaka, conductor

ラフマニノフ

ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18

Rakhmaninov / Piano Concerto No. 2 C Minor Op. 18

チャイコフスキー

交響曲 第4番 ヘ短調 作品36

Tchaikovsky / Symphony No. 4 F Minor Op. 36

2022年 7月15日(金) 7:00pm

NHKホール

Friday, July 15, 2022 7:00p.m. NHK Hall



ピアノ

小曾根 真

Makoto Ozono, piano

©Kazuyoshi Shimomura (AGENCE HRATA)

### ■ 発売開始

5月19日(木)11:00am

(N響定期会員先行発売：5月17日(火)11:00am)

### ■ 料金(税込) ※定期会員は一般料金から10%割引

[ 一般 ] S: ¥7,300 A: ¥5,300 B: ¥3,300 C: ¥2,100

[ ユースチケット (25歳以下) ] S: ¥5,200 A: ¥3,800 B: ¥2,350 C: ¥1,500

※ユースチケットはN響ガイドに電話でお申し込みください。感染症予防対策のため、事前に年齢確認のための登録手続きが必要となります(N響ホームページをご覧ください)。

※定期会員割引・先行発売は、WEBチケットN響、N響ガイドのみの取り扱いとなります。

※早い者勝ちについてはN響ガイドにお問い合わせください。

※N響ガイドでのお申し込みは、公演日の1営業日前までとなります。

※チケットのご購入・ご来場の際には、N響ホームページに掲載の「感染症予防対策についてのご案内」(右記QRコードのリンク先)を必ずお読みください。

※やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。公演中止の場合をのぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません。

※未就学児のご入場はお断りしています。



お問い合わせ N響ガイド 03-5793-8161 (営業日・営業時間はN響ホームページをご覧ください) [www.nhksa.or.jp](http://www.nhksa.or.jp)

# 水素で世界を動かせ。

**Iwatani**  
岩谷産業株式会社

# 4人の作曲家が 希求する明日の世界

「Music Tomorrow」はN響が制定した作曲賞、尾高賞の受賞作を軸に、日本人作曲家への委嘱作品の初演、国外の動向を踏まえた海外作品の日本初演などで構成される。今年の尾高賞受賞作品は西村朗の《華開世界—オーケストラのための》(2020)と岸野末利加の《チェロとオーケストラのための「What the Thunder Said」/「雷神の言葉」》(2021)の2作品に決まった。日本人作曲家への委嘱作品は細川俊夫の《ヴァイオリン協奏曲「ゲネシス(生成)」》(2020)、そして海外作品の初演はフランスの作曲家トリストン・ミュライユにN響をはじめとする世界の音楽団体が共同委嘱した《嵐の目—ピアノとオーケストラのための幻想即興曲》(2021)である。

N響委嘱作品の西村作品が昨年の《Music Tomorrow 2021》で初演されたことはまだ記憶に新しい。道元禅師の《華開世界起》に基づき、一輪の花が時間と空間を縫いながら世界全体を聞くという世界観を色彩豊かに描いていた。一方、岸野作品はドイツでの感染症によるパンデミックの経験とT.S. エリオットの詩集「荒地」に重なる。曲はその第5部「雷神の言葉」からのモチーフ(雷、水滴、雷など)に基づき、それらの断片を支えられながら崩壊に抗い、荒地を潤す希望の滴によって再生を希求する。初演者であるシェヴリンによる戦いに満ちたチェロは聴きものだろう。そして細川の協奏曲は今回の独奏者であるアーベルレの出産を祝って作曲された。生命の誕生と成長をヴァイオリン(人間)とオーケストラ(自然や世界)の関係性によって表現しており、途中対立を経て最後に共舞的な世界へいたる。海外作品のミュライユは音のスペクトル分析や音響合成などから独自の作風を確立した作曲家である。この協奏曲《嵐の目》が見据えている世界はどのようなものだろうか。ミュライユ作品のスペシャリストであるギョとオーケストラが奏でる渦巻く響きの真っ只中から明日への希望を見い出すことができるかもしれない。(三橋圭介・音楽評論家)

指揮：イラン・ヴォルコフ

Ilan Volkov, conductor

チェロ：オレン・シェヴリン

Oren Shevlin, cello

ヴァイオリン：ヴェロニカ・アーベルレ

Veronika Eberle, violin

ピアノ：フランソワ・フレデリック・ギイ

François-Frédéric Guy, piano

管弦楽：NHK交響楽団

NHK Symphony Orchestra, Tokyo

# N響 MUSIC TOMORROW 2022

July 1 (Fri) 7:00pm  
Otaka Award Ceremony / Pre-Concert Talk 6:30pm  
Tokyo Opera City Concert Hall

2022年7月1日 金 7:00pm

尾高賞授賞式・プレトーク  
6:30pm

東京オペラシティ コンサートホール

西村 朗 / 華開世界—オーケストラのための(2020) [第69回「尾高賞」受賞作品]  
Nishimura / KAKAISEKAI for Orchestra (2020) [The 69th Otaka Award Work]

岸野末利加 / チェロとオーケストラのための「What the Thunder Said」/「雷神の言葉」(2021) [第69回「尾高賞」受賞作品・日本初演]  
Kishino / "What the Thunder Said" for Cello and Orchestra (2021) [The 69th Otaka Award Work / Japan Premiere]

細川俊夫 / ヴァイオリン協奏曲「ゲネシス(生成)」(2020)

[NHK交響楽団 / パンパルコ・フィル / 香港シフォニエッタ / 広島交響楽団 / プラハ放送交響楽団 / グラフェネッグ音楽祭共同委嘱作品・日本初演]

Hosokawa / Violin Concerto "Genesis" [Co-commission Work for NHK Symphony Orchestra, Philharmonisches Staatsorchester Hamburg, Hong Kong Sinfonietta, Hiroshima Symphony Orchestra, Prague Radio Symphony Orchestra, and Grafenegg Festival / Japan Premiere]

ミュライユ / 「嵐の目」—ピアノとオーケストラのための幻想即興曲(2021)

[NHK交響楽団 / フランス放送フィル / BBCラジオ3 / NDRエルプフィル共同委嘱作品・日本初演]

Murail / "L'œil du cyclone", fantasia-impremtu pour piano and orchestra

[Co-commission Work for NHK Symphony Orchestra, Orchestre Philharmonique de Radio France, BBC Radio 3 and NDR Elbphilharmonie Orchester / Japan Premiere]

発売開始 2022年5月19日 11:00am [定期会員先行発売: 2022年5月17日(火) 11:00am]

チケット料金(税込)

◎ 一般 | S: 3,500円 / A: 2,500円 / B: 1,500円

◎ WEBチケットN響 特別料金 | S: 3,000円 / A: 2,000円 / B: 1,000円

- 車いす席についてはN響ガイドにお問い合わせください
- N響定期会員先行発売の取り扱い、WEBチケットN響およびN響ガイドのみとなります
- 東京オペラシティ Arts 友の会先行発売(6月18日(木) 10:00am)の取り扱いは東京オペラシティチケットセンターのみとなります
- 東京オペラシティ チケットセンターでの一般発売は5月20日(金) 10:00amより行います
- N響ガイドでのお申し込みは、公演日の1営業日前までとなります

前売所

- WEBチケットN響: <https://ticket.nhkso.or.jp>
- N響ガイド: 03-5793-8161
- 東京オペラシティ チケットセンター: 03-5353-9999
- チケットぴあ: [pia.jp/t/nhkso](http://pia.jp/t/nhkso)
- e+(イープラス): [eplus.jp/nhkso](http://eplus.jp/nhkso)
- ローソンチケット: [l-tike.com/nhksoo](http://l-tike.com/nhksoo)






- 約2時間超の公演となります(休憩20分あり)
- 未就学児の入場はお断りしています
- チケットのご購入・ご来場の際は、N響ホームページに掲載の「感染症予防対策についてのご案内」(下記のURLのおよびQRコードのリンク先)を必ずお読みください
- やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。公演中止の場合をのぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません。

主催: NHK / NHK交響楽団  
共催: 公益財団法人 東京オペラシティ文化財団  
助成: 公益財団法人 三菱UFJ信託芸術文化財団 / 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション / 公益財団法人 アフィニス文化財団



[www.nhkso.or.jp/news/20200710\\_2.html](http://www.nhkso.or.jp/news/20200710_2.html)

お問い合わせ: N響ガイド: 03-5793-8161  
(営業日・営業時間はN響ホームページをご覧ください)

[www.nhkso.or.jp](http://www.nhkso.or.jp) | Follow us on     

# 脱炭素の道へ。 水素とLPガスが加速する。



温暖化ガス排出実質ゼロ社会の実現を目指して。

イワタニはLPガス・<sup>マルイガス</sup>Maruigasの全国販売ネットワークを活かし、脱炭素の主役となる水素を暮らしと産業にお届けする準備を進めています。

さらに、低炭素なLPガスの開発、廃プラスチックやバイオガス由来の水素やLPガス製造、新しいLPガス合成技術などを推進。

クリーンエネルギーのトップランナーとして走り続けます。

## 水素&LPガスシェアNo.1<sup>※</sup>

※国内における販売シェア(2021年5月現在、自社調べ)

## Iwatani

岩谷産業株式会社